202	9門学校 九州ビジュ 2022年度(前期) 音響学科 1年											
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名						
 I		ホ	ームルーム	ムI	2	上田 真美						
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験						
		前期 4月~9月	演習	必須	32	AD実務経験有						
	授業テーマ 報告、連絡、 	、相談の徹底を認識	iさせ、実行 ロ 授業内									
1		ムルーム 1-1	}		導、会社説明会:	、個人面談等						
2	ホ ー.	ムルーム I-2	ホームルー.	ム、履歴書指記	導、会社説明会	、個人面談等						
3	/	ムルーム I-3	ホームルー.	ム、履歴書指?	導、会社説明会.	、個人面談等						
4	/	ムルーム 1-4	ホームルー。	ム、履歴書指ネ	導、会社説明会	、個人面談等						
5	-	ムルーム I-5	Ę.		導、会社説明会							
6		ムルーム 1-6	}		導、会社説明会.							
7	/	/ ₂ /レー / ₂ -7	ホームルー	ム、履歴書指導	導、 会社説明会	、個人面談等						

2	/	ホームルーム -2	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
3		ホームルーム 1-3	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
4	/	ホームルーム -4	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
5	/	ホームルーム 1-5	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
6	/	ホームルーム 1-6	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
7	/	ホームルーム 1-7	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
8	_/	ホームルーム 1-8	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
9	_/	ホームルーム 1-9	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
10	<i>f</i>	ホームルーム 1-10	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
11		ホームルーム 1-11	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
12	/	ホームルーム 1-12	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
13	_/	ホームルーム 1-13	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
14	/	ホームルーム 1-14	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
15		ホームルーム 1-15	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
16	/	ホームルーム 1-16	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等

□ 到達目標	□ 評価方法
報連相の徹底	筆記試験(機材)
□ 教科書・・参考文献	□ その他

2022年度(後期) 音響学科 1年								
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
•••	ホ・			ームルームI		2	上田 真美	
	=	1ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			後期 10月~3月	演習	必須	32	AD実務経験有	
	授業概 	要 1身の自己分析と第	€界・分野の3	理解を深め	る。			
	 授業テ 	ーマ 見場で即戦力となる	5人材を目指	.				
	 授業項	■		□ 授業内]容			
1	/	ホームルーム			,	導、会社説明会、		
2	/	ホームルーム				導、会社説明会、		
3	-	ホームルー』				導、会社説明会、		
4		ホームルー』	ا ہـ			導、会社説明会、		
5		ホームルーム	ا د-21	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
6	/	ホームルーム	л I-22			導、会社説明会、		
7	/	ホームルー』	∡ I-23			導、会社説明会、		
8	/	ホームルー』	3	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
9	/	ホームルーム	ا ہے	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
10	/	ホームルー』	3	ホームルー』	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
11	/	ホームルー』	l-27 د ا	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
12	1	ホームルーム	3	ホームルー」	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
13	/	ホームルー』		ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
14	/	ホームルー』	3	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
15		ホームルー』	31- ا د	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
16		ホームルーム	32-ا د	ホームルー	ム、履歴書指	導、会社説明会、	個人面談等	
	到達目 i相の徹					評価方法筆記試験(機)		
~~~								
	教科書	・ 参考文献				□ その他		

投業期間   投業分類   投業分類   64	202	22年月	<b>芰(前期)</b> ————————————————————————————————————		音響学	4 1年				
投票機関   投票分類   およの   1 を表記数   1 投票機関   PA業務実績   1 投票機関   PA業務実績   1 投票機関   PA業務実績   PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。   自分の役割を高減して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   自分の役割を高減して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   自分の役割を高減して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   PA基礎   1			授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
接撃概要	~~~~	~~~~			PA実習I	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	4	國分優志		
投業概要			コースNo.	授業期間		<u>:</u>	年間授業時数			
PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる				前期 4月~9月	演習	必須	64	PA業務実績有		
投業テーマ   PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。   自分の役割を資議して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   自分の役割を資議して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   1 投業内容   PA基礎   L	_	授業権	既要							
PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。   自分の役割を意識して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   1		·	PAシステムを理解し	ノ、自力で組	しみ、音出し	ができるよ	うになる			
PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。   自分の役割を意識して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   1		~								
PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。   自分の役割を意識して効率的且つ安全に作業ができるようになる。   1		授業 7	 テーマ							
1				ノ、自力で組	しみ、音出し	ができるよ	うになる。			
PA基礎 I-1 クレア機材移動作業・授業内容説明・自己紹介 PA基礎 I-2 Liveイベントセッティング  PA基礎 I-3 ケーブル巻き①  PA基礎 I-5 mic/SPスタンド立て  PA基礎 I-6 SPスタッキング  PA基礎 I-7 テスト(学校機材に関する内容)  PA基礎 I-8 ブランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証  PA基礎 I-10 15'min 仕込み実習  PA基礎 I-11 15'min 仕込み実習  PA基礎 I-12 15'min 仕込み実習  PA基礎 I-13 15'min 仕込み実習  PA基礎 I-14 テスト(学校機材に関する内容)  PA基礎 I-15 学期末学習実践期間/学習フォロー実施  PA基礎 I-16 学期末学習実践期間/学習フォロー実施  PA基礎 III 現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。 第記試験(機材)		••	自分の役割を意識し	/て効率的且	つ安全に作	業ができる	ようになる。			
PA基礎   -2   Live -1 ペントセッティング	_	授業項	頁目		□ 授業内					
PA基礎   -3	1	/	PA基礎  -	1	クレア機材を	移動作業・授	受業内容説明・自己紹:	<u></u> 介		
PA基礎 I-4 ケーブル巻き② PA基礎 I-5 mic/SPスタンド立て PA基礎 I-6 SPスタッキング PA基礎 I-7 テスト(学校機材に関する内容) PA基礎 I-8 ブランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証 PA基礎 I-9 ブランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証 PA基礎 I-10 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-11 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-12 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-13 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-14 テスト(学校機材に関する内容) PA基礎 I-15 学期末学習実践期間/学習フォロー実施 PA基礎 I-16 学期末学習実践期間/学習フォロー実施 T 到達目標 TD 評価方法 T期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。 筆記試験(機材)	2	/	PA基礎  -	2	Liveイベン	トセッティン	グ			
PA基礎 I-5   mic/SPスタンド立て	3	/	PA基礎  -	3	ケーブル巻き①					
6       PA基礎 I-6       SPスタッキング         7       PA基礎 I-7       テスト (学校機材に関する内容)         8       PA基礎 I-8       ブランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証         9       PA基礎 I-10       15'min 仕込み実習         1       PA基礎 I-12       15'min 仕込み実習         2       PA基礎 I-13       15'min 仕込み実習         4       PA基礎 I-14       テスト (学校機材に関する内容)         5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         1       J 製連目標       口 評価方法         I 財現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       第記試験 (機材)	4	/	PA基礎  -	4	ケーブル巻き②					
PA基礎 I-7 テスト (学校機材に関する内容) PA基礎 I-8 プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証 PA基礎 I-9 プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証 PA基礎 I-10 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-11 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-12 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-13 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-13 15'min 仕込み実習 PA基礎 I-14 テスト (学校機材に関する内容) PA基礎 I-15 学期末学習実践期間/学習フォロー実施 PA基礎 I-16 学期末学習実践期間/学習フォロー実施 I 到達目標 I 即現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。 筆記試験 (機材)	5	/	PA基礎  -	5	mic/SPスタンド立て					
8       PA基礎 I-8       ブランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証         9       PA基礎 I-9       ブランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証         10       PA基礎 I-10       15'min 仕込み実習         11       PA基礎 I-11       15'min 仕込み実習         12       PA基礎 I-12       15'min 仕込み実習         13       PA基礎 I-13       15'min 仕込み実習         14       PA基礎 I-14       テスト(学校機材に関する内容)         15       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         16       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         17       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         18       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         19       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         19       PA基礎 I-16       学期本学習実践期間/学習フォロー実施         19       PA基礎 I-16       学期本学習実践期間/学習フォロー実施         10       PAE I-16       PAE I-16       PAE I-16         19       PAE I-16       PAE I-16       PAE I-16	6	/	PA基礎 I-	6	SPスタッキ	ング				
9       PA基礎 I-9       プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証         0       PA基礎 I-10       15'min 仕込み実習         1       PA基礎 I-11       15'min 仕込み実習         2       PA基礎 I-12       15'min 仕込み実習         3       PA基礎 I-13       15'min 仕込み実習         4       PA基礎 I-14       テスト(学校機材に関する内容)         5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         6       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         1       到達目標       ロ 評価方法         I期 現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       筆記試験(機材)	7	/	PA基礎  -	7	テスト(学	校機材に関す	-る内容)			
PA基礎 I-10   15'min 仕込み実習   1	8	/	PA基礎  -	8	プランニン:	グ・仕込み計	画・打ち合わせ・検	証		
1       PA基礎 I-11       15'min 仕込み実習         2       PA基礎 I-12       15'min 仕込み実習         3       PA基礎 I-13       15'min 仕込み実習         4       PA基礎 I-14       テスト (学校機材に関する内容)         5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         6       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         I 到達目標       口 評価方法         期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       筆記試験 (機材)	9	/	PA基礎  -	9	プランニン:	グ・仕込み計	画・打ち合わせ・検	ĬĪ.		
1       PA基礎 I-11       15'min 仕込み実習         2       PA基礎 I-12       15'min 仕込み実習         3       PA基礎 I-13       15'min 仕込み実習         4       PA基礎 I-14       テスト (学校機材に関する内容)         5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         6       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施 <b>コ 評価方法</b> 期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       筆記試験 (機材)	10	/	PA基礎 I-1	10	}					
2       PA基礎 I-12       15'min 仕込み実習         3       PA基礎 I-13       15'min 仕込み実習         4       PA基礎 I-14       テスト (学校機材に関する内容)         5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         6       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施 <b>3 到達目標</b> 期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       筆記試験 (機材)	11	/	PA基礎 I-1	11	15'min 仕込	み実習				
4       PA基礎 I-14       テスト (学校機材に関する内容)         5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         6       PA基礎 I-16       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         評価方法         期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       筆記試験(機材)	12	/	PA基礎 I-1	12	}					
5       PA基礎 I-15       学期末学習実践期間/学習フォロー実施         1 到達目標       I 別境場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       第四方法         [期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。       筆記試験(機材)	13	/	PA基礎 I-1	13	15'min 仕込	み実習				
6 PA基礎 I-16 学期末学習実践期間/学習フォロー実施  プ 到達目標	14		PA基礎 I-:	14	テスト(学	校機材に関す	-る内容)			
プログラス ログラ	15		PA基礎 I-:	15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施					
I期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。 筆記試験 (機材)	16	/	PA基礎 I-:	16	学期末学習	実践期間/学	習フォロー実施			
I期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。 筆記試験 (機材)		到達	 目標				□ 評価方法			
] 教科書・・参考文献 □ その他				て対応できる	る基礎力を身	トに付ける。				
] 教科書 ・ 参考文献 🗆 ての他						~				
		教科書	事 ・ 参考文献				□ その他			

202	2年	度(後期)		音響学科	斗 1年		
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
				PA実習I		4	國分優志
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	必須	64	PA業務実績有り
	授業権						
		PAシステムを理解し	、, 自力で組ん	み、音出し	ができるよ	うになる	
	•				·····		
	授業-	テーマ					
_		<b>ノーマ</b> PAシステムを理解し	、自力で組	み、音出し	ができるよ	うになる。	
		自分の役割を意識し	,て効率的且~	つ安全に作	業ができる。	<b>ようになる。</b>	
_	- بنند <del>(155</del>	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			. ජන		
	授業項		}	日 授業内		alle 1 x 2 ===	
1	/	PA実習 I-1				業内容説明・自己紹介	ý) 
2	/	PA実習 I-1			、セッティン <i>?</i>	グ	
3		PA実習 I-1	19	ケーブル巻き	<b>₹</b> ①		
4		PA実習 I-2	20	ケーブル巻き	<b>\$</b> ②		
5		PA実習 I-2	21	mic/SPスタご	ンド立て		
6	/	PA実習 I-2	22	SPスタッキ	ング		
7	/	PA実習 I-2	23	テスト(学村	交機材に関す	る内容)	
8	/	PA実習 I-2	24	プランニング	グ・仕込み計	画・打ち合わせ・検討	E
9	/	PA実習 I-2	25	プランニング	グ・仕込み計	画・打ち合わせ・検討	Œ
10	/	PA実習 I-2	26	15'min 仕込。	み実習		
11	/	PA実習 I-2	27	15'min 仕込。	み実習		
12	/	PA実習 I-2	28	15'min 仕込。	み実習		
13	/	PA実習 I-2	29	15'min 仕込。			
14	/	PA実習 I-3	30		交機材に関す	る内容)	
15	/	PA実習 I-3	31	学期末学習別	実践期間/学習	フォロー実施	
16	_/	PA実習 I-3	32	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施	
	到達	: 目 <b>標</b>				□ 評価方法	
		- <b></b> 活動に向け、現場に1	て対応できる	基礎力を身	łに付ける。		
	·-••		***************************************		r	•••••	
	教科i	書・・参考文献				□ その他	

202	2022年度(前期) 音響学科 1年								
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
				照明実習	l	4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー		
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	必須	64	照明会社		
	授業	ピンスポットの基本	操作~複雑	な操作フォー	ローの習得				
	授業:	テーマ 							
	,								
	授業	項目		□ 授業内	容				
1		照明実習I	-1	ピンスポッ	ト実践1(役	割)			
2	/	照明実習丨	-2	ピンスポッ	ト実践2(構	造)			
3	/	照明実習I	-3	<b>}</b>	ト実践3(電				
4	/	照明実習I	-4	ピンスポッ	ト実践4(場				
5	/	照明実習I	-5	}	卜実践5(過	去の事例)			
6	/	照明実習丨	-6	ピンスポッ	ト実践6(学	内にあるピsンス	スポット)		
7	/	照明実習Ⅰ	-7	ピンスポッ		ホールにあるピ			
8	/	照明実習丨	-8	ピンスポッ	ト実践8 狙	ってみよう!①			
9		照明実習Ⅰ	-9	ピンスポッ	ト実践9 狙	ってみよう!②			
10		照明実習  -	-10	8		狙ってみよう!			
11	/	照明実習  -	-11	ピンスポッ	ト実践11	色をtける①			
12		照明実習  -	-12	ピンスポッ	ト実践12	色をつける②			
13	/	照明実習  -	-13	ピンスポッ	ト実践13	色をつける③			
14		照明実習  -	-14	ピンスポッ	ト実践14	その他のエフェ	クト①		
15	/	照明実習  -	-15	ピンスポッ	ト実践 1 5	その他のエフェ	クト②		
16		照明実習  -	-16	まとめ					
	到達	目標			-	<b>口 評価方法</b> 総合評価(知語	: 戦・内容・技術)		
	教科	書・参考文献				□ その他			

授業コード 授				授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	,			照明実習		4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	必須	64	照明会社
	授業権	既要					
		Pinの総合的な操作の	習得LEDと	卓の基本操	作の習得		
	,						
	授業	テーマ		•			
	•						
	授業項	<b>頁目</b> 		□ 授業内	容		
1	/	照明実習  -	-17	クセノンピン	ンの構造理解		
2	/	照明実習  -	-18	ダウザーレ/	バーでの横の;	振りの感覚の習	<del>但</del> 行
3	/	照明実習 l-	-19		ベーでのF/i〜		
4	/	照明実習  -	-20			F/i~F/Oの習得	
5	/	照明実習  -	-21	ダウザーレ/	ベーでのC/I〜	·C/Oの習得	
6	/	照明実習  -	-22	ピンの構造と	と役割に関す	る筆記テスト	
7	/	照明実習  -	-23	F/I~FO/とC	C/I~C/OのMI	Xでのレバー操作	F
8	/	照明実習  -	-24	フォローした	ながらのIN〜(	DUT	
9	/	照明実習  -	-25	カラーフィノ	レターを使っ	た操作	
10	/	照明実習  -	-26	2色以上のチ	ェンジ		
11	/	照明実習  -	-27		ながらのIN〜(	DUT	
12	/	照明実習  -	-28	楽曲でのPIN			
13	/	照明実習  -	-29	ピンの操作に	こ関する筆記	テスト	
14	/	照明実習  -	-30	クール末イ⁄	ベントにむけ	7	
15	/	照明実習  -	-31	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施	
16		照明実習  -	-32	学期末学習家	実践期間/学習	フォロー実施	
	到達					口 評価方法	
夏斯	]現場》	舌動に向け、現場に1	て対応できる	基礎力を身	た付ける。	筆記試験(機	材)
	教科i	・参考文献				□ その他	

2022年度(後期)

音響学科 1年

2022年	度(前期)		音響学和	斗 1年			
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
		マ-	-ケティン	グリ	4	壇浦 正幸	
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
		前期 4月~9月	演習	必須	64	マーケティング講師	
7 授業	<b>!概要</b>						
」「汉未	<del>・阪女</del> マーケティングか	有効かどうか	?を検証し	ます。			
	マーケティングか	有効だと理解	し、実践に	活用できる	ように整えます。		
] 授業	<b>€テーマ</b> 大企業のビジネス	モデルからマ	ーケティン・	グ其礎を学	7バます.		
	7(11/1/17)			/ <u>*</u> * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
」 授業 ————	<b>項目</b>		口授業内	容			
1	マーケティ	ング I-1	}	マーケティン			
2 /	マーケティ	ング I-2	<b>{</b>	ングは誰がす			
3 /	マーケティ	ング I-3	グ I-3 マーケティングの考え方は変わっていく				
4	マーケティ	ング  -4	-4 マーケティングの基本概念(ニーズと市場)				
5	マーケティ	ング I-5	マーケティン	ングの基本栂	念(ベネフィット、亻	面値、他)	
6 -/	マーケティ	ング I-6	マーケティン	ングに求めら	れる役割		
7	マーケティ		振り返り				
8 /	マーケティ		外部環境分析	折PEST			
9	マーケティ		3C分析				
10 /	マーケティン	ッグ I-10	SWOT分析				
11 /	マーケティン	ッグ I-11	SWOT分析	内部環境と	マトリクス		
12 /	マーケティン	ング I-12	マーケティン	ングの目標の	設定		
13	マーケティン		STPの概要				
14	マーケティン		セグメンテ-	ーション(市	場細分化)		
15	マーケティン	ング I-15	学期末学習	実践期間/学	<b></b>		
16	マーケティン	ング I-16	学期末学習乳	実践期間/学	<b>習フォロー実施</b>		
] 到達	<u>:</u> !目標		<u> </u>				
	 湯活動に向け、現場(	こて対応できる	る基礎力を身	トに付ける。			
	•••••						
<b>一种</b> 科	<b>章 .</b>				□ その他		
] 教科	書・参考文献				□ その他		

	後期 10月~3月		必須	64	マーケティング講師
コースNo.	授業期間	授業分類	3	年間授業時数	実務経験
	マーケティングー		4	壇浦 正幸	
授業コード	5			週間授業時数	担当講師名

マーケティングが有効かどうか?を検証します。 マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

# □ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

	授業項目		授業内容
--	------	--	------

-	マーケティング ۱-17	さまざまなマーケティングの定義
/	マーケティング I-18	マーケティングは誰がするのか
/	マーケティング I-19	マーケティングの考え方は変わっていく
	マーケティング I-20	マーケティングの基本概念(ニーズと市場)
/	マーケティング I-21	マーケティングの基本概念(ベネフィット、価値、他)
/	マーケティング 1-22	マーケティングに求められる役割
-/-	マーケティング 1-23	振り返り
/	マーケティング 1-24	外部環境分析PEST
-/	マーケティング I-25	3C分析
/	マーケティング I-26	SWOT分析
	マーケティング 1-27	SWOT分析 内部環境とマトリクス
-/-	マーケティング 1-28	マーケティングの目標の設定
-/-	マーケティング I-29	STPの概要
	マーケティング I-30	セグメンテーション(市場細分化)
	マーケティング I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
_/_	マーケティング I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
		マーケティング I-18 マーケティング I-19 マーケティング I-20 マーケティング I-21 マーケティング I-22 マーケティング I-23 マーケティング I-25 マーケティング I-26 マーケティング I-27 マーケティング I-28 マーケティング I-30 マーケティング I-31

( -	
到達目標	口評価方法
ントを運営する上でマーケティングの必要性の理解。	筆記試験
教科書・参考文献	□ その他

2022	2年月	<b>き(前期)</b>		音響学科	4 1年					
		受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			PTオ	TオペレーションI 4 立川 眞佐						
		コースNo.	授業期間	授業分類 🛮 🕫 - ФЯ - Ф						
			前期 4月~9月	演習	必須	64	レコーディングエンジニア			
⊐ <b>∄</b>	受業相	<b>乳要</b> 世界標準のDAWでま	53PRO TOO	DLSのオペレ	·ーションを	:プロスタジオワ	7ークに沿って習得			
⊒ <b>∄</b>		<b>⁻ーマ</b> 世界標準のDAWであ	53PRO TO(	DLSのオペレ	· ーションを	・プロスタジオワ	7ークに沿って習得			
] <u> </u>	受業項	目		□ 授業内	容					
1	/	PTオペレーシ	ョン I-1	オリエンラ	テーション					
2	/	PTオペレーシ	ョン I-2	Native/DS	SPプラグイ	ン				
3	/	PTオペレーショ		ロクロス等	等フェード					
4	/	PTオペレーシ		ビートディ	ィテクティ					
5	/	PTオペレーショ	ョンI-5	AudioSuite	9					
6		PTオペレーショ	∍ ン I-6	ダブリンク	ゲなどの手	法を用いた録	音方法			
7	/	PTオペレーシ	ョン1-7	ボーカルニ	エディット	①(修正ソフト	を用いない			
8		PTオペレーシ	∃ ン I-8	ボーカルニ	エディット	②(修正ソフト	を使用			
9		PTオペレーシ	ョンI-9	オリエンラ	テーション					
10		PTオペレーショ	ョン I-10	クリップ愉	青報につい	て解説				
11	/	PTオペレーショ	ョン I-11	ステムトラ	ラックの作	成方法				
12		PTオペレーショ	ョン I-12	変拍子のも	セッション	の作成				
13	/	PTオペレーショ	ョン I-13	イン/エク	スポート	・バウンス				
14	/	PTオペレーショ	ı ≻ I-14	グループイ	じの実用例					
15		PTオペレーショ	∍ ン I-15	学期末学習到	実践期間/学習	引フォロー実施				
16		PTオペレーショ	∍ > I-16	学期末学習家	実践期間/学習	<b>引フォロー実施</b>				
	<b>到達目</b> 標準・		TOOLS の	オペレーシ	<u>′</u> ョンをプ「	<b>□ 評価方法</b> 課題、プレセ	<b>え</b> ジンテーションでの評価			
] {	数科書	・ 参考文献				□ その他				

202	22年月	度(後期)		音響学科	斗 1年						
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
			PTォ	PT オペレーション   4 立川 眞佐人							
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類 💩 🚓 💩 年間授業時数 実務経験							
			後期 10月~3月	演習	必須	64	レコーディングエンジニア				
	授業権	<b>既要</b> 世界標準のDAWであ	53PRO TOC	)LSのオペレ	・ーションを	:プロスタジオ!	7ークに沿って習得				
	授業	<b>マ</b> 世界標準のDAWであ	3 PRO TOC	)LSのオペレ	·ーションを	:プロスタジオワ	7ークに沿って習得				
	授業項	目		□ 授業内	容						
1	/	PTオペレーショ	ン I-17	オリエンラ	テーション						
2	/	PTオペレーショ	ン 1-18	タブを用い	<b>いた編集</b>	•••••					
3	/	PTオペレーショ	3	メーターの							
4	/	PTオペレーショ			ィックオー						
5	/	PTオペレーショ	ン I-21	サイドチュ	ェイン						
6	/	PTオペレーショ	ン I-22	トラブルシ	シューティ	ング					
7	/	PTオペレーショ	ıン I-23	テイク管理	里・セレク	٢					
8	/	PTオペレーショ	ン 1-24	テイク管理	里・セレク	F					
9	/	PTオペレーショ	ン 1-25	オリエンラ	テーション						
10	/	PTオペレーショ	ン I-26		ンョン実習	、制作作業					
11	/	PTオペレーショ	ン I-27			、制作作業					
12	/	PTオペレーショ	ン I-28	オペレーシ	ンョン実習	、制作作業					
13	/	PTオペレーショ	ン I-29	オペレーシ	ション実習	、制作作業					
14		PTオペレーショ	ン I-30	オペレーシ	ンョン実習	、制作作業					
15		PTオペレーショ	ン I-31	学期末学習別	実践期間/学習	引フォロー実施					
16	/	PTオペレーショ	ン I-32	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施					
	到達		・ あるPRO T	- -00LSのオ	- -ペレーショ	<b>ロ 評価方法</b> :課題、プレセ	<b>、</b> :シテーションでの評価				
	教科書	★考文献				□ その他					

2022年度(	(前期)	音響学科	1年
---------	------	------	----

	前期 4月~9月	\	選択必須	64	PA業務多数有り	
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
	1	ライプ <b>音響基礎</b>			國分優志	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名	

_		前期 4月~9月	<b>通省</b>	選択必須	64	PA業務多数有り
	授業	<b>既要</b> 音の特性を理科し、環境に合わ	つせた音響作	りを目指す。		
			•••••••			
	授業	テーマ	. /+ D// - D+	角のせいかり	· 公小中川ナ、1 * 、 、	
		音楽の様に音単体でも成立表と	2.は別に、映	1家の無助的な	で	/一ノに合わせた灯心を知る。
	授業	<b>頁目</b>	□授業内	]容		
1	/	ライブ音響 1	基本知識 1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
2	/	ライブ音響 2	基本知識 2			
3	/	ライブ音響 3	準備につい	て1		
4	/	ライブ音響 4	準備につい	て 2		
5	/		さまざま音			
6	/	ライブ音響 6	さまざま音	源 2		
7	/	ライブ音響 7	エフェクト	と演出 1		
8	/	ライブ音響 8	エフェクト	と演出 2		
9	/	ライブ音響 9	補正とは?	1		
10	/	ライブ音響 10	補正とは?	2		
11	/	ライブ音響 11	ミキシング	1		
12	_/	ライブ音響 12	ミキシング	2		
13	/	ライブ音響 13	環境につい	て 1		
14	/	ライブ音響 14	環境につい	て 2		
15	/	ライブ音響 15	筆記テスト			
16	-/	ライブ音響 16	まとめ			
	<u>.</u> 到達	目標	•		<b>□ 評価方法</b> 筆記試験(機	
	教科	書・・ 参考文献			□ その他	
				u .		

202	022年度(後期) 音響学科 1年								
	ţ	受業コード	_	授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			ラ・	イプ音響基礎		4	國分優志		
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			後期 10月~3月	演習	選択必須	64	PA業務多数有り		
	<b>〕 授業概要</b> 音の特性を理科し、環境に合わせた音響作りを目指す。								
	授業テ  		*も成立表と	は別に、映作	象の補助的な	な役割など、シー	ーンに合わせた対応を知る。		
	授業項	目		□ 授業内	容				
1		ライブ音響	17	各マイクロフ	フォンの特性	1			
2	/	ライブ音響	18	各マイクロフ	フォンの特性	2			
3		ライブ音響	19	さまざまな楽器を知る1					
4		ライブ音響	20		楽器を知る 2				
5		ライブ音響	21	電気信号のこ	フローを確認	1			
6		ライブ音響	22	電気信号のこ	フローを確認	2			
7		ライブ音響	23	ミキサーのキ	寺性 1				
8		ライブ音響	24	ミキサーのキ	寺性 2				
9		ライブ音響	25	アンプを知る	3 1				
10		ライブ音響	26	アンプを知る	3 2				
11		ライブ音響	27	以外の機材の	の効果と必要性	生 1			
12		ライブ音響	28	以外の機材の	の効果と必要り	生 2			
13		ライブ音響	29	どこまでだ-	ったら一人で [.]	できるもん 1			
14		ライブ音響	30	どこまでだ-	ったら一人で [.]	できるもん 2			
15		ライブ音響	31	組織としての	カライブ音響				
16		ライブ音響	32	まとめ					
	到達目	標				□ <b>評価方法</b> 筆記試験(機材	才)		
	教科書					□ その他			

202	2年度	(前期)		音響学	科 1年			
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
			舞	台照明基	礎	4	ライティング・オフィス・シャド	
•••••	Ξ	1ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			前期 4月~9月	演習	選択必須	64	照明会社	
	 ! 授業テ・	ール(エレメン)		∠操作の習行	<del>특</del>			
_	 				- rits			
	授業項		7.4	□授業内		TD 477 1 -		
1		舞台照明			脱着と機能の	理解まで 		
2		舞台照明		レンズspot/				
3		舞台照明			/フレネルにつ			
		舞台照明			ーム/PARにつ			
5		舞台照明			イト/ブロード			
6		舞台照明	-				ヽての筆記テスト	
-		舞台照明			ベントにむけ			
8		舞台照明			脱着と機能の	理解まで 		
9		舞台照明	~~~~~~~~~~~	レンズspot/				
10		舞台照明		<b></b>	/フレネルにつ			
11		舞台照明						
12		舞台照明			イト/ブロード			
13	<u> </u>	舞台照明					ヽての筆記テスト	
14	/	舞台照明		クール末イ	ベントにむけ	7		
15		舞台照明	15	テスト				
16		舞台照明	16	振り返り				
	<b>到達目</b> 機材の	票 基本的特性を理科	する			<b>口 評価方法</b> 筆記試験(機		
					~ ~			
	教科書	・参考文献				□ その他		

202	2022年度(後期) 音響学科 1年							
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
			舞	台照明基	礎	4	ライティング・オフィス・シャドー	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			後期 10月~3月	演習	選択必須	64	照明会社	
	コンソール(エレメント)基本機能と操作の習得							
	授業	項目		□ 授業内	]容			
1		舞台照明1	.7	エスペの調力	光卓~ユニッ	ト~回路の理解		
2	_/	舞台照明1	.8	ETC エレメントの	の概要の理解			
3	/	舞台照明1	.9	パッチの習行	得			
4	/	舞台照明2	20	シーンメモ	リーの記憶習	得		
5		舞台照明2	21	シーンメモ	リーの記憶と	再生習得(簡単	な楽曲にあわせて)	
6		舞台照明2	22	調光システ	ムに関する筆	記テスト		
7		舞台照明2	23	クール末イ	ベントにむけ	7		
8		舞台照明2	9		リーの修正習			
9		舞台照明2	25	エフェクトの	の作成の習得			
10		舞台照明2	26		の作成の習得			
11	/	舞台照明2	27	楽曲でのシ	- ンの作成と	実行		
12	/	舞台照明2	28	楽曲でのシ	- ンの作成と	実行		
13	/	舞台照明2	29	エレメント(	に関する筆記	テスト		
14	_/	舞台照明3	30	クール末イ	ベントにむけ	7		
15	/	舞台照明3	31	テスト				
16	_/	舞台照明3	32	振り返り				
	到達	目標				<b>口 評価方法</b> 筆記試験(機		
	教科	・参考文献				□ その他		

						専門学校	九州ビジュアルアー、		
2022年	度(前期)		音響学科	1年					
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当記	構師名		
		アイデア	プランニン	ング基礎	4	上田	真美		
•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務	経験		
		前期 4月~9月	演習	選択必須	64	AD実務	経験有り		
脳の	<b>終概要</b> D中のヒラメキや深ま イディアが具現化でき				ます。				
ます	ずは、面白いと感じる	実感を捉えま			変えていくことを	実践していきる	<b>ます。</b>		
5	類目 <del>。</del>	3	□ 授業内容						
1	アイディアプラ	ンニング1	授業の流れと	目的を共有	<b>します</b>				
	<u></u>		身近な「面白い・楽しい」について話す						
	アイディアプラ								
4	アイディアプラ	ンニング 4	テーマに沿ってオリジナル企画を考える						
5	アイディアプラ	ンニング 5	企画をプレゼ	゛ンテーショ゛	ーションする				
6 /	<b>イ</b> アイディアプラ	ンニング 6	企画を再考す	· 3					
7	アイディアプラ	ンニング 7							
8 /	<b>イ</b> アイディアプラ	ンニング 8	樹形図を使っ	たアイデア	H L ①				
9 /	<b>イ</b> アイディアプラ	ンニング 9	樹形図を使っ	たアイデア	出し②				
10	<b>グ</b> アイディアプラン				±∟3				
11	<b>グ</b> アイディアプラン	ノニング 11	アイデアを組	lみ合わせる(	D				
2 *	アイディアプラン	3							
	アイディアプラン								
14	アイディアプラン	ノニング 14	条件付きの企	直について	考える②				
15	<b>/</b> アイディアプラン	ノニング 15	テスト						
16	<b>ノ</b> アイディアプラン	ノニング 16	<del></del> 振り返り						
	: <b>些目標</b> アをまとめる				□ 評価方法 総合評価				
□ 教科	書・・参考文献				□ その他				
				•					

.....

......

2022年度(後期)		音響学和	斗 1年		
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		'プランニ		4	上田 真美
コースNo.	授業期間		必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月~3月	演習	選択必須	64	AD実務経験有り

イベントを運営する上で、仲間との情報のスムーズな共有や、より良いものを作るための会議などでの深める 作業を、ブレインストーミングの方法で体感します。

### □ 授業テーマ

いいものを作ろうとするとき、必ずといっていいほど、意見の相違が生まれます。この相違は、いいものが生まれるために起こります。この理解のもと、次どこに着地点を持っておけばいいいのか?を探ります。

### □ 授業項目 □ 授業内容

1		ブレインストーミング17	ブレインストーミングを知る
2	/	ブレインストーミング18	テーマ①についてブレストする
3	/	ブレインストーミング19	テーマ①のアイデアを整理する
4		ブレインストーミング20	テーマ②についてブレストする
5		ブレインストーミング21	テーマ②のアイデアを整理する
6	/	ブレインストーミング22	テーマ③についてブレストする
7	/	ブレインストーミング23	中間まとめ
8	/	ブレインストーミング24	テーマ①についてグループ企画を考えプレゼンする
9	/	ブレインストーミング25	テーマ①のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
10	/	ブレインストーミング26	テーマ②についてグループ企画を考えプレゼンする
11	/	ブレインストーミング27	テーマ②のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
12	/	ブレインストーミング28	テーマ③についてグループ企画を考えプレゼンする
13		ブレインストーミング29	テーマ③のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
14	_/	ブレインストーミング30	1年間のまとめ
15		ブレインストーミング31	テスト
16	./	ブレインストーミング32	振り返り

□ 到達目標	□ 評価方法
他者の意見を吸収し、自分の意見との融合を目指す	ブレインストーミングによる総合評価
□ 教科書・参考文献	□ その他

202	2年月	隻(前期) ————————————————————————————————————		音響学科 1 年 						
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			キャリこ	アプランニ	ニングー	2	大番 隆史			
•••••		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			前期 4月~9月	演習	選択	32	キャリアサポート			
	授業	<b>既要</b> 就活に向けた社会人	基礎力鍛錬	/コミュニ·	ケーション	能力の習得				
		デーマ 就活に向けた社会人	基礎力鍛錬	/コミュニ	ケーション	能力の習得				
	授業項	<b>頁目</b>		□ 授業内	]容					
1	/	キャリアプランニンク	`1	テーマ有無	フリートーク					
2	/	キャリアプランニング	` 2	グループデ	ィスカッショ	ン				
3	/	キャリアプランニング	` 3		ィスカッショ					
4		キャリアプランニング	` 4	自己紹介/イ						
5	/	キャリアプランニング	` 5	自己分析						
6	/	キャリアプランニング	`6	自己分析、	自己PR作成					
7		キャリアプランニング	` 7	自己PRプレ	ゼン					
8	/	キャリアプランニング	`8	フリートー:	ク強化					
9	/	キャリアプランニング	` 9	グループデ	ィスカッショ	ン				
10		キャリアプランニング	` 10		ィスカッショ					
11	/	キャリアプランニング	` 11		ズ・アングル	から映像にアプロー	チする(撮影・編集)			
12	/	キャリアプランニング	` 12	企業研究						
13	/	キャリアプランニング	` 13	企業研究、	業界分析					
14	/	キャリアプランニング	` 14	企業研究、	業界分析					
15		キャリアプランニング	` 15	学期末学習	実践期間/学習	<b>習フォロー実施</b>				
16		キャリアプランニング	` 16	学期末学習	実践期間/学習	習フォロー実施				
	到達[	<b>目標</b> 就活スキルの向上。				<b>ロ 評価方法</b> 授業への取り組み	<b>5</b> 方			
	教科	事 · 参考文献				□ その他				

2022年度(後期)		音響学科	1年		
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	キャリ	アプランニ	ニングⅡ	2	大番 隆史
コースNo.	授業期間		-	年間授業時数	実務経験
	後期 10月~3月	演習	選択	32	キャリアサポート

就職活動で必要となる知識・スキルの習得。

## □ 授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬/コミュニケーション能力の習得

# □ 授業項目 □ 授業内容

1	/	キャリアプランニング 17	ビジネスマナー実習
2	/	キャリアプランニング 18	ビジネスマナー実習
3	/	キャリアプランニング 19	履歴書作成
4	/	キャリアプランニング 20	履歴書作成
5		キャリアプランニング 21	履歴書作成
6	/	キャリアプランニング 22	作品プレゼン、自己プレゼン練習
7	/	キャリアプランニング 23	作品プレゼン、自己プレゼン練習
8	/	キャリアプランニング 24	業界、企業分析
9	/	キャリアプランニング 25	業界、企業分析
10	/	キャリアプランニング 26	志望動機、自己PRブラッシュアップ
11	/	キャリアプランニング 27	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	/	キャリアプランニング 28	グループディスカッション
13	/	キャリアプランニング 29	グループディスカッション
14	/	キャリアプランニング 30	プレゼンテーション
15	/	キャリアプランニング 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		キャリアプランニング 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標	□ 評価方法
 就職活動スキルの向上。	授業への取り組み方
教科書・・参考文献	□ その他
 	***************************************

2022年月	度(後期) ————————————————————————————————————		音響学科	斗 1年			
	授業コード		授業科目名    週間授業時			担当講師名	
Ľ			'ジネスマナー 4 大番 隆				
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
		後期 10月~3月	演習	選択	64	キャリアサポート	
] 授業権	既要						
	今後社会人となる上	で必要な、電	電話やメール	ル等でのビ	ジネススキルを	養う 	
•							
] 授業	テーマ		••••••				
] 授業項	項目		口 授業内	容			
1	ビジネスマラ	⊢—1				学校のルールの確認	
2/	ビジネスマラ	⊢—2	夏活動に向けて履歴書を作成。これまでの経歴や取得した免許や資格の整理と特 技や趣味などの書き方を説明				
3	ビジネスマラ	⊢—3	志望動機と自己PRの違いの説明と自己分析から自己PR、志望動機の作成				
4	ビジネスマラ	⊢-4		望動機の作品			
5 /	ビジネスマラ	⊢—5	夏活動期間( は	こ向けて履歴	書を完成確認と	<b>企業の探し方/企業にむけての志望動機</b>	
ŝ <b>/</b>	ビジネスマヵ	⊢-6	面接につい ⁻	ての注意点や	ポイントを理解		
7	ビジネスマヵ	⊢—7	社会人のル-	ールやマナー	/自分の目指す企	業のマッチング	
3 /	ビジネスマヵ			ールやマナー	/自分の目指す企	業のマッチング	
) /	ビジネスマラ		I# 127 14 / -	実施/企業研究	7		
0 /	ビジネスマナ	8	模擬面接を	実施/企業研究	7		
1	ビジネスマナ	{		実施/企業研究	7		
2 /	ビジネスマナ	12			E研修について、	夏活動の目標設定	
3 /	ビジネスマナ	-13	学内で開催	してきたイベ	ントを通して業績	界での社会人マナーを身につける	
4 -/	ビジネスマナ	-14	学内で開催してきたイベントを通して業界での社会人マナーを身につける				
5 /	ビジネスマナ	-—15	テスト実施				
.6	ビジネスマナ	-—16	振り返り、	まとめ			
] 到達	— <del>———————————————————————————————————</del>	•			口 評価方法		
是出物、抗	受業態度、出席率。)	履歴書の完成	;		筆記試験		
***************************************				-			
] 教科	書・・参考文献				□ その他		

							専門学校 九州ビジュアルアー	
202	22年度	(後期)		音響学科	斗 1年			
	授訓	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
			ベク	ターワー	クス	4	平井 克樹	
	コ	ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PA企業経営	
7	授業概要	<b>6</b>						
_		<b>、</b> 現場での音響業	務の把握と現場	場状況に応	じた対応力の	D習得		
	<u>ک</u>	んな現場でも対応	芯できる力を身	身に着ける。	,			
	授業テー	<b>-マ</b> 業効率を上げる	塩のアイデア2	シイメージ!	4 本ストう1	- たる		
		場での機材トラ			<u> П</u> ЖОБ / I	- 'A 'A		
	授業項目	1		口 授業内	容			
1	/	ベクターワー		メンテナンスの必要性と方法などを説明				
2	/	ベクターワー			ちと注意点に			
3	1	ベクターワー	クス 3	機材在庫管理	里と故障機材	のリストアップと修理	里計画	
4	/	ベクターワー	クス 4	電気機の法名	令と照らし合.	わせ修理の方法を決別	<b></b>	
5	-/-	ベクターワー	クス 5	ホール業務の	の内容と音響	システムの把握		
6	-/-	ベクターワー	クス 6	講演会、発表	長会、乗り込	み対応などの演習		
7	/	ベクターワー	1		基本操作、図	面についてのペーパ-	ーテスト	
8	/	ベクターワー	クス 8		里と整理整頓			
9	/		クス 9	ケーブルメン	ノテナンス			
10	/	ベクターワー	クス 10	音楽催事に対	対応できる人:	材となろう		
11		ベクターワー	クス 11	音楽催事に対	対応できる人:	材となろう		
12	/	ベクターワー	クス 12	バンケット夢	業務の内容と	音響システムの把握		
13	/	ベクターワー	クス 13	結婚式の式》	欠第に沿った	<b>実</b> 習		
14	/	ベクターワー		イラストレ-	-ターでの図	面編集①(イラストロ	<b>ノーターの基本操作)</b>	
15		ベクターワー	8	学期末学習別	実践期間/学習	プフォロー実施		
16		ベクターワー	クス 16	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施		
	到達目標	<b>E</b>	,			□ 評価方法		
メン	テナンス	ス方法の習得				実技試験による評	価	

□ その他

□ 教科書 ・ 参考文献

202	22年月	) (後期)		音響学科 1年					
		受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当訓	 講師名	
			イベ	ント制作	実践	4	長谷	公平	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務	経験	
			後期 10月~3月	演習	選択	64	プランナ-	-実績多数	
	· 授業ラ	実践を通して、到達				F法を学びます。			
	授業項	<b>[</b> ]		□ 授業内	容				
1	/	イベント制	作 1	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方			
2	/	イベント制	作 2	到達テーマの	の企画制作手:	法と基礎的考え方			
3	/	イベント制	作 3	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方			
4	/	イベント制	作 4	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方					
5		イベント制	作 5	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方			
6	/	イベント制		到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方			
7		イベント制	作 7	途中振り返り	) 				
8	/	イベント制	作 8	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施			
9		イベント制	作 9	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施			
10		イベント制作				イベントの実施			
11		イベント制作	乍 11	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施			
12		イベント制作	乍 12	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施			
13	/	イベント制作	乍 13	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施			
14		イベント制作	乍 14	試験 実施り	こおける実績	と収支にて評価			
15	/	イベント制作	乍 15	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施			
16	/	イベント制作	乍 16	学期末学習乳	実践期間/学習	プォロー実施			
	<b>到達</b> 目 ントの	1 <b>標</b> )実践総合評価				<b>□ 評価方法</b> 提出物			
	教科書	・ 参考文献			•	□ その他			

202	22年	度(前期)		音響学科	 斗 2年			
		授業コード	_	授業科目名		週間授業時数	担当訓	<b>端</b> 師名
			イベ	ント制作	ノト制作実践 4 長谷			公平
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数		経験
			前期 4月~9月	演習	選択	64	プランナ-	−実績多数 —————
	授業	<b>既要</b> 実践を通して、到達	目標を明確	にしながら	イベントのヨ	手法を学びます。		
	授業	<b>テーマ</b> 実践における障壁を	事前に捉え	る力を養い	ます。			
	授業項	項目		□ 授業内				
1	/	イベント制作	乍 17	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
2	/	イベント制作	乍 18	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
3	/	イベント制作	乍 19		の企画制作手	法と基礎的考え方		
4	/	イベント制作	乍 20			法と基礎的考え方		
5	/	イベント制作	乍 21	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
6	/	イベント制作	乍 22	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
7	/	イベント制作	乍 23	途中振り返り	l)			
8 	/	イベント制作	-			イベントの実施		
9	/	イベント制作	乍 25	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施		
10		イベント制作	乍 26	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施		
11		イベント制作	乍 27	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施		
12		イベント制作	乍 28	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施		
13	/	イベント制作	乍 29	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施		
14		イベント制作	乍 30	試験 実施り	こおける実績	と収支にて評価		
15		イベント制作	乍 31	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施		
16		イベント制作	乍 32	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施		
	<b>到達</b>	<b>目標</b> の実践総合評価				<b>口 評価方法</b> 提出物		
	教科	書・参考文献				□ その他		

2022年度(後期) 音響学科 2年								
		授業コード		授業科目名	<b>運動 大学 </b>			
			イベ	ント制作	実践	4	長谷 公平	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			後期 10月~3月	演習	選択	64	プランナー実績多数	
	授業権	<b>死要</b> 実践を通して、到達	目標を明確	にしながら	イベントの=	F法を学びます。		
	授業元	<b>テーマ</b> 実践における障壁を	事前に捉え	る力を養い	ます。			
	授業項	目		□ 授業内	容			
1	/	イベント制作	乍 33	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
2	/	イベント制作	乍 34	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
3		イベント制作	乍 35	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
4	/	イベント制作	乍 36	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方				
5		イベント制作		到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方		
	/	イベント制作				法と基礎的考え方		
7	1	イベント制作		途中振り返り		/ A. J. a. th		
	/	イベント制作				イベントの実施		
9	/	イベント制作 イベント制作				イベントの実施		
10 11		イベント制作				イベントの実施 イベントの実施		
12		イベント制作						
13	ļ.,,	イベント制作				イベントの実施		
14	<b>-</b>	イベント制作				と収支にて評価		
15	/	イベント制作 47 学期末学習実践期間/学習フォロー実施						
16		イベント制作	乍 48	学期末学習写	実践期間/学習	プォロー実施		
ロ イベ	<b>到達</b> [	<b>目標</b> D実践総合評価				<b>□ 評価方法</b> 提出物		
	教科書	・ 参考文献				□ その他		

022	100 (10	/1 <del>04</del> 6	,	日音寸	学科 2年 	,	
	授業コ	- F		授業科目	名	週間授業時数	担当講師名
~~~~			ホ-	-ムル-	-쇼Ⅱ	2	上田真美
	コース	No.	授業期間	授業分類		年間授業時数	実務経験
			前期 4月~9月	演習	選択	32	AD勤務経験有
/授:	業概要						
	~M&						

1302	 業テーマ						
132	来ノーマ						
					·····		
3	業項目 		}		内容		
7	<i></i>	ホームルーム		課題:企		ックアップ/エント	リー/履歴書/面接/内定後の課題
7	/	ホームルーム	2-اا ــ	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	リー/履歴書/面接/内定後の課題
Z		ホームルーム		課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	-リー/履歴書/面接/内定後の課題
7	/	ホームルーム	4-اا ــ	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	リー/履歴書/面接/内定後の課題
Z	/	ホームルーム	5-اا ح	課題:企	業研究/企業ピッ	ックアップ/エント	- リー/履歴書/面接/内定後の課題
· /	/	ホームルーム	z II-6	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	リー/履歴書/面接/内定後の課題
, ,	_	ホームルーム					リー/履歴書/面接/内定後の課題
} /	/	ホームルーム	3				リー/履歴書/面接/内定後の課題
	/	ホームルーム	9-اا د	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	リー/履歴書/面接/内定後の課題
) /	_	ホームルーム	· II-10	課題:企	業研究/企業ピッ	ックアップ/エント	・リー/履歴書/面接/内定後の課題
l ,	/	ホームルーム	· II-11	課題:企	業研究/企業ピッ	ックアップ/エント	・リー/履歴書/面接/内定後の課題
2 7	/	ホームルーム	. II-12	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	・リー/履歴書/面接/内定後の課題
3 /	_	ホームルーム	√ II-13	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	・リー/履歴書/面接/内定後の課題
4	<u>/</u>	ホームルーム	· II-14	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	- リー/履歴書/面接/内定後の課題
5 ~	/	ホームルーム	√ II-15	課題:企	業研究/企業ピッ	/クアップ/エント	リー/履歴書/面接/内定後の課題
ĵ 7	/.	ホームルーム	√II-16	課題:企	業研究/企業ピッ	ックアップ/エント	・リー/履歴書/面接/内定後の課題
3	達目標					□ 評価方法	
25 1							

□ その他

□ 教科書 ・ 参考文献

2022年度(後期) 音響学科 2年										
授業	コード	ž	受業科目名		週間授業時数	担当講師名				
		ホー	-ムルー1	الك	2	上田 真美				
コー	スNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
	後	期 10月~3月	演習	選択	32	AD勤務経験有				
 □ 授業項目			」 授業内							
1	ホームルーム -				/クアップ/エントリー	-/履歴書/面接/内定後の課題				
;/ <u></u>		{				-/履歴書/面接/内定後の課題				
2/	ホームルーム -	.10	木屋・上木り	讲究/企業にッ	***************************************					
2 /		-19 ⋾		研究/企業ピッ	クアップ/エントリー	-/履歴書/面接/内定後の課題				
	ホームルーム -	-19 詩	果題:企業の	研究/企業ピッ		-/履歴書/面接/内定後の課題				
3	ホームルーム -	19 19 20 影	果題:企業研	研究/企業ピッ	クアップ/エントリー	-/履歴書/面接/内定後の課題				
3 /	ホームルーム -	19	果題:企業研 果題:企業研 果題:企業研	研究/企業ピッ 研究/企業ピッ 研究/企業ピッ	/クアップ/エントリー	-/履歴書/面接/内定後の課題 -/履歴書/面接/内定後の課題				

J	/		
2	/	ホームルーム -18	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3	/	ホームルーム II-19	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4		ホームルーム -20	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5		ホームルーム 11-21	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6	/	ホームルーム 11-22	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7	/	ホームルーム II-23	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8	/	ホームルーム -24	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9	/	ホームルーム -25	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10	/	ホームルーム II-26	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11	/	ホームルーム -27	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12	/	ホームルーム II-28	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13	/	ホームルーム II-29	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14	/	ホームルーム 11-30	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15		ホームルーム -31	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16	_/	ホームルーム II-32	課題:企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

□ 到達目標	□ 評価方法
	課題制作、提出物での評価

□ 教科書 ・ 参考文献	口 その他
	•••••
	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••

202	2022年度(前期) 音響学科 1年										
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	—————————————————————————————————————	講師名			
			ITB≲	キシング	基礎	4	立川 眞佐人				
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数		務経験			
			前期 4月~9月	演習	選択	64	レコーディン	ングエンジニア			
П	一 授業概要										
_		マールン レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ									
	烃業	テーマ									
_		, 、 レコーディングエ	ンジニアに	求められる	る知識、技	術を網羅する	。ITBミックスの	D手法を学ぶ			
П	授業	酒 日		□ 授業店							
1	/	ITBミキシング	`甘砵 1		プ ロ テーション						
	/	ITBミキシング				7 k _ //.					
3	/	ITBミキシング		プロツールズのインストール プロツールズの原理							
	/	ITBミキシング		·····		考察・アプロ					
	/	ITBミキシング			~~~~~		ー, ン、モニター環	培			
	/	ITBミキシング					ノ、 L — グ	·兄			
7	/	ITBミキシング		ルームアコースティック シグナル経路							
	/	ITBミキシング		マイクの							
9		ITBミキシング			❤午 						
10	/	ITBミキシング			の動作原理						
11	/	ITBミキシング			テージの物	押 的					
12	/	ITBミキシング			デーシャック ザー動作原						
13	/	ITBミキシング				作原理と実践					
14	/	ITBミキシング									
15	/	ITBミキシング				アスのこりが	/C\ C\//5\ \C\/J				
	/										
16	/	ITBミキシング	基従 Ib	子期木字習	夫践期间/字習	フォロー実施					
	到達		- \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	+ 4 · 10 -	フ ケロ言か → ↓			るの気体			
	l	レコーディングエ	ノンニどに	水のりれる	コ和誠、坟	は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u> </u>	ごり計1曲			
		••••••		••••••	* *						
	教科i	・参考文献				□ その他					

2022 ቋ	年度(後期)		音響学和	斗 1年					
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
		ITB≋	キシング	基礎	4	立川 眞佐人			
••••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
		後期 10月~3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア			
口授	〕 授業概要 レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ								
□ 授	】 授業テーマ レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ								
口授	業項目		□ 授業座	内容					
1	/ ITBミキシング	基礎 17	オリエンラ	テーション					
2/	/ ITBミキシング	基礎 18	楽器の構造	5、弦楽器					
3 /	ITBミキシング	基礎 19	楽器の構造	5、管楽器					
4/	ITBミキシング	基礎 20	録音手法						
5	ITBミキシング	基礎 21	リズム楽器	器へのアプ	ローチ、グル	ーブのコントロール			
6 /	ITBミキシング	基礎 22	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			クトリック楽器の処理 			
7	ITBミキシング					リエイティビティ			
8 /	ITBミキシング				持のプロセッ	サーの使い方 			
9 /		基礎 25	オリエンカ						
10 /	ITBミキシング				式による音質				
11 /	ITBミキシング					、データ圧縮 、Dither技術			
12 /	ITBミキシング		·····			のアプローチ			
13	ITBミキシング					シングの原理と実践			
14	ITBミキシング					た、その考え方			
15	ITBミキシング				[}] フォロー実施 				
16 /	ITBミキシング	基礎 32	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
口到	□ 到達目標 □ 評価方法 □ レコーディングエンジニアに求められる知識、技行課題、プレゼンテーションでの評価								
□ 教	科書・参考文献				□ その他				

2022年	度(前期)		音響学科	斗 1年						
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
		スタシ	ジオワーク	基礎	8	立川 眞佐人				
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
		前期 4月~9月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア				
□ 授業	〕 授業概要									
□ 授業	〕 授業テーマ プロスタジオのワークフローの理解									
口 授業	美項目		□ 授業府	内容						
1	スタジオワーク	'基礎 1	オリエン	テーション						
2	スタジオワーク	'基礎 2	スタジオの仕組み							
3	スタジオワーク		ミキサーの仕組み							
4	スタジオワーク	:	マイク・機材の紹介							
5	スタジオワーク	'基礎 5	5 Protoolsとミキサーの説明							
6	スタジオワーク	'基礎 6	歌レコーラ	ディング						
7	スタジオワーク	'基礎 7	ドラムレコーディング							
8 /	スタジオワーク	'基礎 8	マイキング	グによる音	の変化の解説					
9	スタジオワーク	'基礎 9	オリエン	テーション						
10	スタジオワーク	基礎 10	Cueboxを							
11	スタジオワーク	基礎 11	ギターレニ	コーディン	グ					
12	スタジオワーク	基礎 12	ベースレ	コーディン	グ					
13	スタジオワーク	基礎 13	EQの説明							
14/	スタジオワーク	基礎 14	コンプレ	ッサーの説	明					
15	スタジオワーク	基礎 15	学期末学習乳	実践期間/学習	引フォロー実施					
16	スタジオワーク	基礎 16	学期末学習	実践期間/学習	引フォロー実施					
□ 到道	注目標 プロスタジオのワ	ークフロー	の理解		ロ 評価方法 課題、プレゼ	ンテーションでの評価				
□ 教科	書・参考文献				□ その他					

202	22年月	度 (後期)		音響学科	1年					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
	-		スタシ	<i>う</i> オワーク	基礎	8	立川(真佐人			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア			
	〕 授業概要 プロスタジオのワークフローの理解									
	授業テーマ プロスタジオのワークフローの理解									
	授業	項目		□ 授業₽	内容					
1	/	スタジオワーク	基礎 17	オリエンラ	テーション					
2	/	スタジオワーク	基礎 18	シグナルフ	フローを理	解する(1)				
3		スタジオワーク基礎 19 シグナルフローを理解する(2)								
4		スタジオワーク				周波数特性を	理解する			
5	/	スタジオワーク			マイキング					
6 7	/	スタジオワーク 		リバーブ リアンプ#	などを用い					
	/	スタジオワーク			が解説基礎					
 9	/	スタジオワーク		オリエンラ						
10	/	スタジオワーク	基礎 26	ピアノレニ	コーディン	ング				
11	/	スタジオワーク	基礎 27		カレコーデ	ィング	••••••			
12	/	スタジオワーク	基礎 28	MA (マル	チオーディ	´オ)について	の説明			
13	/	スタジオワーク	基礎 29	アフレコ、	ボイスオ	-バー				
14		スタジオワーク	基礎 30	キーボー	ド等MIDIを	用いたレコー	ディング			
15	-/-	スタジオワーク	基礎 31	学期末学習到	実践期間/学習	フォロー実施				
16	/	スタジオワーク	基礎 32	学期末学習別	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	目標 プロスタジオのワ	ークフロー	の理解		ロ 評価方法 課題、プレセ	シテーションでの評価			
	教科	・参考文献			_	□ その他				

202	2年月	度(前期)		音響学	科 1年				
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			PTオペ	レーショ	ン基礎	4	立川 眞佐人		
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア		
	□ 授業概要 世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得								
	」 授業テーマ 世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得								
	授業	項目		□ 授業	内容				
1		PTオペレーショ	ン基礎 1	オリエン・	テーション				
2	/	PTオペレーショ	ン基礎 2	Native/DS	SPプラグイ	ン			
3	/	PTオペレーショ	ン基礎 3	ロクロス	等フェード	の応用			
4		PTオペレーショ	ン基礎 4	ビートデ	ィテクティ	ブ			
5		PTオペレーショ	ン基礎 5	AudioSuit	е				
6		PTオペレーショ	ン基礎 6	ダブリン	グなどの手	法を用いた録	音方法		
7		PTオペレーショ	ン基礎 7	ボーカル	エディット	①(修正ソフト	を用いない		
8		PTオペレーショ				②(修正ソフト	を使用		
		PTオペレーショ		***************************************					
~~~~ <u>\$</u>	<u>-</u>	PTオペレーショ	·····	~~~~~					
		PTオペレーショ							
3	* 1	PTオペレーショ	3						
13	/	PTオペレーショ	ン基礎 13	イン/エク	'スポート・	バウンス			
14		PTオペレーショ	ン基礎 14	グループ	化の実用例				
		PTオペレーショ							
16	/	PTオペレーショ	ン基礎 16	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施 			
		<b>目標</b> 世界標準のDAWで	⁵あるPRO T	00LSのオ	ナペレーショ ~	<b>ロ 評価方法</b> : 課題、プレセ	ジンテーションでの評価		
	教科	・ 参考文献				□ その他			

2022年度(後期)	音響学科	1年
------------	------	----

	後期 10月~3月	·	選択	64	レコーディングエンジニア
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	}	ドレーショ		4	立川 眞佐人
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名

~~~~		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア			
_	4mm sm:	HIII ATT	`							
	授業		'あるPR∩⊤	001 S か →	ペレーシー	・・ンをプロフ・	タジオワークに沿って翌年			
	¥	世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得								
		世界標準のDAWで	*あるPRO T	UULSのオ	ペレーショ	ョンをプロス:	タジオワークに沿って習得			
	ń	······································				···········				
	授業	·項目 		口 授業内	容					
• • • • • • • • •	ļ	PTオペレーション								
2	/	PTオペレーション	ン基礎 18	タブを用し	\た編集					
3	/	PTオペレーショ:	ン基礎 19	メーターの)種類					
4		PTオペレーション	ン基礎 20	エラスティ	′ックオー:	ディオ				
5	/	PTオペレーション	ン基礎 21	サイドチュ	 - イン					
6		PTオペレーション	ン基礎 22	トラブルシ	/ューティ:	ング				
/		PIオペレーショ:	ン基礎 23	ナイク管地	里・セレク					
9	/	PTオペレーション PTオペレーション	ン基礎 25	オリエンラ	ニーション					
10	/	PTオペレーション	ン基礎 26	オペレーシ	/ョン実習、	制作作業				
11		PTオペレーション	ン基礎 27	オペレーシ	/ョン実習、	制作作業				
12		PTオペレーション	ン基礎 28	オペレーシ	/ョン実習、	制作作業				
		PTオペレーション	2							
14	/	PTオペレーション	ン基礎 30	オペレーシ	/ョン実習、	制作作業				
15		PTオペレーション	ン基礎 31	学期末学習ま	₹践期間/学習	1フォロー実施				
	: /	PTオペレーション	3.							
	到達	 :目標				□ 評価方法	 去			
		世界標準のDAWで	*あるPRO T	00LSのオ	ペレーショ		ゼンテーションでの評価			
					·					
 D	数科									
	- √ 171					、~ 16				
					,					

202	22年』	度(前期)		音響学科	斗 1年				
		授業コード	アンサン	授業科目名 ブルオペレ	/一ト基礎	週間授業時数	担当講師名 立川(真佐人、永田(健志、尾池)善充、 吉永(匡、藤本)喝起、佐藤・五魚		
		コースNo.	授業期間前期4月~9月	授業分類 演習	選択	年間授業時数 128	実務経験 ミュージシャン		
	□ 授業概要								
	コ 授業テーマ								
	授業項	項目		□ 授業内	容				
	ļ	アンサブルオペレ・							
	بسنا	アンサブルオペレ・							
3		アンサブルオペレ・	ート基礎 3	シンプルな8	ビートの楽曲	3、ライブ音響・	レコーディング実習		
		アンサブルオペレ・			-スの関係性、	ライブ音響・	レコーディング実習		
5		アンサブルオペレ・		ļ			. ライブ音響・レコーディング実習		
6				<u> </u>			音響・レコーディング実習 		
	ļ			ļ			《に演奏、ライブ音響・レコーディング実 		
	/						ン、ライブ音響・レコーディング実習		
9		アンサブルオペレ		オリエンテー	-ション		音響・レコーディング実習		
				(
11		アンサブルオペレ-	- ト基礎 11	シャッフルの)リズム、ラ <i>-</i>	イブ音響・レコ	ーディング実習		
12	1	アンサブルオペレ-	- ト基礎 12	ファンクグル	レーヴ、ライコ	ブ音響・レコー	ディング実習		
13	1	アンサブルオペレ- アンサブルオペレ- アンサブルオペレ-	- ト基礎 13	セッション	(合奏)、ラ·	イブ音響・レコ	ーティング実習		
14		アンサブルオペレ-	- ト基礎 14	セッション	(合奏) 、ラ	イブ音響・レコ	ーティング実習		
15		アンサフルオペレ-	- ト基礎 15	子期木子百月	長战期间/子首	/ ノォロー美肔			
16		アンサブルオペレ-	- ト基礎 16	学期末学習実	ミ践期間/学習	フォロー実施			
	到達	目標				ロ 評価方 流 課題、プレイ	去 ゼンテーションでの評価		
	教科	・参考文献				□ その他			

2022年度(後期) 音響学科 1年

	後期 10月~3月	·	選択	128	ミュージシャン
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	アンサン	ブルオペレ	ノート基礎	8	立川 眞佐人、永田(健徳志、尾池・善・充、 吉永、匡、藤本・喝起、佐藤・五魚
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名

		後期 10月	~3月	演習	選択	128	ミュージシャン		
	授業	概要							
		学内コンサートホールを使	っての	、「合奏」	を通じて生	∈の楽器の音の)扱いを知る		
	授業	テーマ							
_	2014		しの実	践になるが	が、前期との)違いに気づく	ことと、その気付きをシェアすること		

	授業	項目	Г] 授業内	容				
1	/	アンサブルオペレート基礎	17 オ	リエンテー	ーション				
2	/	アンサブルオペレート基礎	18 シ	/ンプルな8	ビートの楽曲	このイブ音響	・レコーディング実習		
3	/	アンサブルオペレート基礎	19 シ	/ンプルな8	ビートの楽曲	1、ライブ音響	・レコーディング実習		
4		アンサブルオペレート基礎	20 F	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習					
5	/	アンサブルオペレート基礎	21	ドラムとベースの関係性の理解(楽曲2)、ライブ音響・レコーディング実習					
6		アンサブルオペレート基礎	22 Z	スピーディーな8ピートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習					
7		アンサブルオペレート基礎	23 ス		-		ズに演奏、ライブ音響・レコーディング実		
8	/	アンサブルオペレート基礎		ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習					
9	/	アンサブルオペレート基礎	25 オ	-リエンテ-	-ション				
10	/	アンサブルオペレート基礎	26 10	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習					
11	/	アンサブルオペレート基礎	27 シ		 カリズム、ライ		ーディング実習		
	: ′	アンサブルオペレート基礎	3	'ァンクグハ	レーヴ、ライ	ブ音響・レコー	ディング実習		
13	/-	アンサブルオペレート基礎	29 t	アッション	(合奏) 、ラ [,]	イブ音響・レコ	ーディング実習		
14	/	アンサブルオペレート基礎	30 t	ヹ ッション	(合奏) 、ラ [,]	イブ音響・レコ	ーディング実習		
15	/	アンサブルオペレート基礎	ンサブルオペレート基礎 31 学期末学習実践期間/学習フォロー実施						
16	/	アンサブルオペレート基礎	32 学	沖期末学習実	実践期間/学 習	フォロー実施			
	到達	目標				口 評価方法	₹		
					<u>.</u>	課題、プレセ	ンテーションでの評価		
	教科	書・参考文献	••••••			口 その他			

2022年度(前期) 音響	学科 1年
---------------	-------

	前期 4月~9月		選択	64	作曲家・ギタリスト
$\neg \neg \neg No.$	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	音楽知識 基礎			4	永田 健 志
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□ 授業テーマ

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□ 授業項目 □ 授業内容

1	/	音楽知識 基礎 1	オリエンテーション
2	/	音楽知識 基礎 2	リズム研究、ドラム研究
3		音楽知識 基礎 3	マイケルジャクソン研究
4		音楽知識 基礎 4	ギター研究
5		音楽知識 基礎 5	ベース研究
6		音楽知識 基礎 6	ビートルズ研究その1
7	/	音楽知識 基礎 7	ビートルズ研究その2
8		音楽知識 基礎 8	音源制作の流れ、仕事の役割の理解
9		音楽知識 基礎 9	オリエンテーション
10	/	音楽知識 基礎 10	音楽映画研究
11	_/	音楽知識 基礎 11	イギリスのロック研究
12	<i>f</i>	音楽知識 基礎 12	アメリカのロック研究
13		音楽知識 基礎 13	日本のロック研究
14		音楽知識 基礎 14	ダンスミュージックその1(アメリカ)
15		音楽知識 基礎 15	ダンスミュージックその2(イギリス)
16	/	音楽知識 基礎 16	グループ討論

□ 到達目標	口 評価方法
音楽、楽器の見知を拡げるための情報をイン	課題、プレゼンテーションでの評価
プットする。音楽のプロとしての視点、知識を	
をすることにつなげていく	
□ 教科書 ・ 参老文献	口 その他

2022年度	(谷田)	音響学科	1 年
2022年度	(伎男)	百 晉 子科	工井

	後期 10月~3月		選択	64	作曲家・ギタリスト
コースNo.	授業期間 授業分類 🕬 🕬 🕬			年間授業時数	実務経験
	音楽知識 基礎			4	永田 健志
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□ 授業テーマ

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□ 授業項目

□ 授業内容

1	/	音楽知識 基礎 17	オリエンテーション
2	1	音楽知識 基礎 18	音楽映画研究その2
3	/	音楽知識 基礎 19	音楽と映像1
4	/	音楽知識 基礎 20	音楽と映像2
5	/	音楽知識 基礎 21	レゲエ、スカ、ジャマイカの音楽
6	/	音楽知識 基礎 22	ブラジルの音楽
7	-/-	音楽知識 基礎 23	フランスの音楽
8	/	音楽知識 基礎 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	/	音楽知識 基礎 25	オリエンテーション
10	<i>/</i>	音楽知識 基礎 26	進化するジャズ
11	/	音楽知識 基礎 27	クラブミュージック
12	/	音楽知識 基礎 28	ブルース研究、簡単なブルースセッション
13		音楽知識 基礎 29	モータウンレコード、スタックスレーベル
14	/	音楽知識 基礎 30	細野晴臣研究
15	_/	音楽知識 基礎 31	音楽映画研究
16	/	音楽知識 基礎 32	著作権

□ 到達目標	口 評価方法
音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。	〒課題、プレゼンテーションでの評価
□ 教科書 · 参考文献	口 その他

2022年度(前期) 音響学科 1年								
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
		マッフワー		4	國分優志			
コースNo.	授業期間	授業分類)	年間授業時数	実務経験			
	前期 4月~9月		選択	64	PA実務業務有り			
口。烟类麻苗								

			前期 4月~9月	演習	選択	64	PA実務業務有り
	授業	既要 PAの目的と可能性を初歩的なスキルから学ぶ。簡単なPAシステムを立ち上げる					
	授業	€テーマ 学内にある機材で簡単なPAシステムを組み立てる。					
	授業	項目		□ 授業内!	 容		
1	/	PAスタッフワーク	′基礎1	PAとは?			
2	/	PAスタッフワーク	'基礎 2	PAに関わる機材			
3	/	PAスタッフワーク	√基礎 3	音声信号のフロー❶			
4	-/-	PAスタッフワーク	′基礎 4	音声信号のフロー❷			
5	_/	PAスタッフワーク	'基礎 5	各機材の役割			
6	/	PAスタッフワーク	'基礎 6	学内にあるPA義材を全て把握しよう(1)			
7	/	PAスタッフワーク	₹基礎 7	学内にあるPA義材を全て把握しよう(2)			
8	/	PAスタッフワーク	7基礎 8	学内にあるPA義材を全て把握しよう(3)			
•••••	/	č 2	7基礎 9	学内にあるPA義材を全て把握しよう(4)			
10	/	PAスタッフワーク	基礎 10	簡単なシステムを立ち上げよう!❶			
	_/	<u></u>		簡単なシステムを立ち上げよう!❷			
	/	8 2		簡単なシステムを立ち上げよう!❸			
	-/-	§		簡単なシステムを立ち上げよう!❹			
14		PAスタッフワーク		機材名称試験			
		} 		振り返り			
16		PAスタッフワーク	基礎 16	音響機材でて	ごきること!		
		目標 単なPAシステムを立 <i>た</i>	ら上げる。			ロ 評価方法 筆記試験(機	材)
 	教科	書・参考文献				□ その他	
					,		
					,		

20224	度(後期)		音響学科 1年						
	授業コード	_	授業科目名	名 週間授業時数 担当講					
		PAスタ	マッフワー	ク基礎	4	國分優志			
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
		後期 10月~3月	演習	選択	64	PA実務業務有り			
口 授業	単概要 学内にある全ての	機材の名称と	特性を把握し	、一人で	立ち上げるまでを、	7スターする。			
] 授業	きテーマ 一人でシステムを	立ち上げたら	、あとは時間	骨を早くす	る。				
□ 授業	項目		□ 授業内	容					
1	PAスタッフワ-	- ク基礎 17	オリエンテー	-ション					
2	PAスタッフワ-	- ク基礎 18	8chミキサー	とスタンド.	スピーカーのシステ <i>I</i>	√を立ち上げよう ①			
3	PAスタッフワ-		}		スピーカーのシステム	_			
4	・ PAスタッフワ-	- ク基礎 20	{		スピーカーのシステム				
5	PAスタッフワ-	- ク基礎 21	学内ホールの	PAシステ <i>I</i>	√を立ち上げよう①	***************************************			
6/	PAスタッフワ-	- ク基礎 22	学内ホールの)PAシステ <i>I</i>	△を立ち上げよう②				
7	PAスタッフワ-	- ク基礎 23	学内ホールの)PAシステ <i>I</i>	△を立ち上げよう③				
8 /	PAスタッフワ-	- ク基礎 24	学内ホールの	PAシステ <i>』</i>	√を立ち上げよう④				
9 /	PAスタッフワ-	- ク基礎 25	学内ホールの	PAシステ <i>I</i>	△を立ち上げよう⑤				
10 /	PAスタッフワ-	- ク基礎 26		学内ホールのPAシステムを立ち上げよう⑥					
11 /	PAスタッフワ-	- ク基礎 27	学内機材でて						
12 /	PAスタッフワ-	- ク基礎 28	学内機材でて	きること(2)				
13 /	PAスタッフワ-	- ク基礎 29	学内機材でて	ぎきること(3)				
14	PAスタッフワ-	- ク基礎 30	実技試験						
15	PAスタッフワ-	- ク基礎 31	振り返り						
16 🖊	/ PAスタッフワ-	- ク基礎 32	振り返り						
	連目標 - 級のPA卓をコント	ロールしよう	!		評価方法実技試験				
•••••									

	授美		授業科目名			週間授業時数	担当講師名			
			舞	台知識基	礎	4	西日本企画サービス			
	⊐-	ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			前期 4月~9月	演習	選択	64	イベント企画運営会社			
	授業概要									
			りな知識、特	に名称の獲	得します。ま	また、舞台機構調	整技能試験 受験に向けて知識を			
		ます。								
]	授業テー		⋄→ = ^ ·	- V- V'						
	実際	際の演習につなか	`る埋論とし`	(運営。						
]	授業項目	l		□ 授業内]容					
1		舞台知識 基		ガイダンス						
2	/	舞台知識 基		舞台の定義(演劇の始まり)						
3	1	舞台知識 基	礎 3			アからローマ				
4	/	舞台知識 基	礎 4		2) シェイクス					
5		舞台知識 基	礎 5	舞台の歴史(3) 日本の古典	演劇				
6	/	舞台知識 基	礎 6		・オペラにつ					
7	1	舞台知識 基	礎 7	ミューカル・オペラについて(2)						
8	1	舞台知識 基	· -	世界の劇場						
9		舞台知識 基		日本の劇場						
0		舞台知識 基础	楚 10	劇場内の構造と名称						
.1	/	舞台知識 基础	濋 11	劇場内の目的	的					
2		舞台知識 基础	楚 12	日本のサイン	ズについて					
.3	/	舞台知識 基础	濋 13	まとめ						
.4	_/	舞台知識 基础	濋 14	筆記試験		-				
5		舞台知識 基础	濋 15	学内のホーク	ルはどうだろ	? (1)				
.6		舞台知識 基础	楚 16	学内のホール	ルはどうだろ	? (2)				
	到達目標	 {				□ 評価方法				
				•••••	•	筆記試験				
~	教科書	・参考文献				□ その他				

202	022年度(後期) 音響学科 1年											
	· 授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名					
			舞	台知識基	礎	4	西日本企画サービス					
	=	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験					
			後期 10月~3月	演習	選択	64	イベント企画運営会社					
_	作 作 授業 テ	舞台における基本的 身ます。			得します。る	また、舞台機構	周整技能試験 受験に向けて知識を					
⊐	 授業項	目		□ 授業内	容							
1	/	舞台知識基礎	楚 17	電気に関する	る基礎的な確	認						
2	/	舞台知識基礎	楚 18	舞台機構と設備について								
3	/	舞台知識基礎	楚 19	照明設備につ	ついて							
4	/	舞台知識基礎	楚 20	音響設備につ	ついて							
5	/	舞台知識基礎	楚 21	映像設備に1	ついて							
6	/	舞台知識基礎	楚 22	検定テスト								
7		舞台知識基礎	楚 23	検定テスト	予備日(第1	クールの復習と今	後の課題について)					
8	/	舞台知識基礎	楚 24	劇場の歴史る	と機能							
9	/	舞台知識基礎	楚 25	上演へのプロ	コセス							
10	/	舞台知識基礎	楚 26	公演における	る安全管理							
11	/	舞台知識基礎	楚 27	安全作業と活								
12	/	舞台知識基礎	楚 28	設備運用と								
13	/	舞台知識基礎	楚 29	検定テスト								
14	/	舞台知識基礎	楚 30	検定テスト	予備日(第2	クールの復習と今	後の課題について)					
15		舞台知識基礎	楚 31	学期末学習到	実践期間/学習	アォロー実施						
16		舞台知識基礎	楚 32	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施						
	到達目	標				口 評価方法 筆記試験						
	教科書	・参考文献				□ その他						

202	2022年度(前期) 音響学科 1年										
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
			1	気概論基	礎	4	西日本企画サービス				
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
			前期 4月~9月	理論	選択	64	イベント企画運営会社				
	授業権	既要 音響機材を扱うで剝	辞けて通れな	い電気概論	の知識を学び	ゞ ます。					
_	授業	テーマ									
				な知識を振	り返りながり	ら、音響機材を摂	操作する上で最初の土台として				
		の電気概論を習得し	ン ま り 。								
_	授業項	頁目		□ 授業内	容						
1	/	電気概論 基	礎 1	オリエンテ-	ーション						
2	/	電気概論 基	礎 2	直流回路の間	電圧&電流&	抵抗					
3	/	電気概論 基	達礎 3	電気抵抗について							
4	/	電気概論 基	礎 4	抵抗の直列技	妾続(オーム	の法則)					
5		電気概論 基	i礎 5	抵抗の並列接続および直並列接続							
6	/	電気概論 基	礎 6	ブリッジ回路	洛とキルヒホ	ッフの法則					
7	/	電気概論 基	礎 7	電流による	発熱作用、電	力と電力量					
8	/	電気概論 基	礎 8	電気の作用							
9	/	電気概論 基	·礎 9	電流の化学作	作用						
10	/	電気概論 基	礎 10	{		法則、磁界と磁力					
11		電気概論 基		磁束と磁束容	密度、磁気誘	導 					
12	/	電気概論 基			兹界、アンペ	アの右ネジの法則					
13	!	電気概論 基	礎 13	磁気回路							
14	/	電気概論 基	礎 14	電磁力、直流	売電動機の原	理					
15		電気概論 基	礎 15	筆記テスト							
16		電気概論 基	礎 16	振り返り							
<u> </u>	到達!					ロ 評価方法 筆記試験					
	教科	事 · 参考文献				□ その他					

		哲業 コープ	1	妈 类到 口力		/田田+쯔 개· 미+ 포스	扣业誌标力		
		授業コード 	-	授業科目名	C林	週間授業時数	担当講師名		
~~~		コースNo.	<b></b>	<b>気概論基</b>		4	西日本企画サービス		
		J-XIVO.	授業期間 後期 10月~3月	授業分類 <b>理論</b>	選択	年間授業時数 64	_{実務経験} イベント企画運営会社		
			<b>2€40</b> 1077~373	生訊	迭1八	04	イベンド正回連呂云社		
]	授業権	既要							
		音響機材を扱うで過	<b>建けて通れない</b>	ハ電気概論の	の知識を学び	<b>ゞます。</b>			
	S-								
]	· 授業:	テーマ							
		義務教育で学んだ学 の電気概論を習得し		nな知識を振り返りながら、音響機材を操作する上で最初の土台として					
]	授業項	頁目		□ 授業内	容				
1	/	電気概論 基	礎17	電磁誘導、レ	レンツの法則.	、フレミングの右	手の法則、発電機の原理		
2	/	電気概論 基	礎18	自己誘導と相	目互誘導				
3	/	電気概論 基	礎19	静電気の基礎	きとクーロン	の法則			
4	/	電気概論 基	礎20	静電誘導、青	争電容量とコ	ンデンサ			
5	/	電気概論 基	礎21	コンデンサの	)接続				
6	/	電気概論 基	礎22	交流波形					
7	/	電気概論 基	礎23	交流のベクト	・ル表示				
8	/	電気概論 基	礎24	交流の基礎:	抵抗、イン	ダクタンスだけの[	回路		
9	/	電気概論 基	礎25	静電容量だり	けの回路、R	- L 直列回路他			
10		電気概論 基	礎26	RLC直列回	回路と直列共	振回路			
11	/	電気概論 基	礎27	RLC並列回	回路と並列共	振回路			
12	/	電気概論 基	礎28	交流回路の電	<b>記力、三相交</b> :	流発生の原理			
13	/	電気概論 基	礎29	三相交流の絹	<b>吉線法、三相</b>	交流電力			
14	/	電気概論 基	礎30	予備日					
15	-/-	電気概論 基	礎31	筆記テスト					
16		電気概論 基	礎32	振り返り					
]	到達	目標	•			口 評価方法			
						筆記試験			
~~~									
 7	教科	・ 参考文献				□ その他			

202	022年度(前期) 音響学科 1年											
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名					
				検定対策		4	平井 克樹					
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験					
			前期 4月~9月	演習	選択	64	PA会社経営					
	授業	既要 国家資格「舞台機構	調整作業(音響調整作詞	業)3級」取	得に向けての対策						
		テーマ 検定合格が1つのモ	ティベーシ	ョンとしてネ	尊きます。							
	授業項	頁目		□ 授業内	容							
1	/	国家資格検定対	寸策 1	音響検定の記								
2		国家資格検定対	寸策 2	検定対策								
3	/	国家資格検定対	寸策 3	検定対策								
4		国家資格検定対	寸策 4	検定対策								
5	/	国家資格検定対	寸策 5	検定対策								
6	/	国家資格検定対	寸策 6	小テスト								
7	/	国家資格検定対	寸策 7	検定対策								
8	/	国家資格検定対	寸策 8	検定対策								
9	/	国家資格検定対	寸策 9	検定対策								
10	/	国家資格検定対	策10	検定対策								
11	_/	国家資格検定対	策11	小テスト								
12	/	国家資格検定対	策12	検定対策	••••••							
13	/	国家資格検定対	策13	検定対策								
14	/	国家資格検定対	策14	検定対策								
15	_/	国家資格検定対	策15	検定対策								
16		国家資格検定対	策16	学期末学習家	実践期間/学習	フォロー実施						
	到達	目標				口評価方法						
	教科	事 · 参考文献				□ その他						

202	22年	度 (後期)		音響学科 1年						
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
				機器概論	•	4	平井 克樹			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PA企業経営			
		駅要 国家資格「舞台機構 テーマ 検定合格が1つのモ				得に向けての対策	长			
	授業項	有目			空					
1		国家資格検定対	対策 1		と流れを解説					
2	/	機材把握		既存機器の種						
3	/	機材把握:	9	既存機器の特徴						
4	/	機材把握1	.0	既存機器の氵	舌用方法					
5	/	機材把握1	1	仕込み図作品	戉					
6	/	機材把握1	2	実践に向けっ	7					
7	/	筆記試験		理解確認						
8	/	仕込み7		オペレート。						
9	/	仕込み8		現場をイメ-		•				
10	/	仕込み9		実際現場起	きる障壁につ	る障壁について				
11	/	仕込み10)	その対処方法	方法					
12	/	仕込み11		仕込み図作品	戉					
13	/	仕込み12		効率的なオク	ペレートにつ	ミレートについて				
14		実施試験								
15		学びの実践	Ę	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
16		学びの実践	£	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	目標			- 	□ 評価方法 実技試験による	評価			
	教科	・参考文献				口その他				

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			f	制作演習		2	上田 真美
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			前期 4月~9月	演習	選択	32	AD実務経験有
	授業権	既要					
_		ポス 就活にて有効となるポー	ートフォリオのネ	复数完成を目	指す		
	,						
	冶架 ÷	テーマ					
ш		, 、、 作品の内容・技術力					
	授業項	 頁目		□ 授業内	容		
			1	目的の確認			
1	/	制作演習 I- 		作品制作工 制作プラン	程について ニング		
	/				ディベート :5=1		
3	1	制作演習 -		作品制作進			
4	1	制作演習 -		作品制作進			
5		制作演習 -		作品制作進			
6	/	制作演習 -		制作進行状			
7	1	制作演習 -	-7		プレゼン・デ	イベート	
8	/	制作演習 -		作品制作進			
9		制作演習 I-	-9	作品制作進	行5		
10		制作演習 -	10	プレゼン作	品まとめ		
11		制作演習 -	11	作品制作進	行6		
12		制作演習 -	12	作品制作進	行7		
13	/	制作演習 -	13	作品制作進	行8		
14	/	制作演習 -	14	作品制作進	行8		
15	/	制作演習 -	15	ポートフォ	リオまとめ		
16	/	制作演習 -	16	単位認定:フ	プレゼン・デ	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゚゙゚゙゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
	到達	目標				□ 評価方法	
					<u>.</u>	提出物	
~~~~					F		
	教科	書・参考文献				□ その他	
					<u>.</u>		

2022年度(前期)

202	22年度	(後期)		音響学科	 斗 2年					
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
				制作演習I	l	2 上田 真美				
	=	1ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	32	AD実務経験有			
	<b>授業概</b> 	<b>要</b> お活にて有効となるポ	ートフォリオのぞ	复数完成を目	指す					
<b>-</b>	 授業テ・ 作 	ーマ ・品の内容・技術力								
J	授業項	目		口 授業内	容					
1		制作演習I	-1		゚゚ヺンニング					
2	/	制作演習=	l-2	制作プラン ブラッシュ						
3	1	制作演習Ⅱ	l-3	作品制作進						
4	/	制作演習	l-4	作品制作進	行2					
5	/	制作演習	l-5	制作進行報	告プレゼン	シート作成				
6	/	制作演習	l-6	中間確認ブ	゚レゼン・デ	イベートからのブ	ラッシュアップ			
7	1	制作演習	l-7	作品制作進	行3					
8	/	制作演習=	l-8	作品制作進	行4					
9	/	制作演習	-9	作品制作進	行5					
10		制作演習	-10	:	・ーション作	成				
11	/	制作演習	-11	作品制作進	行6					
12		制作演習	-12	作品制作進	行7					
13	/	制作演習   -	-13	作品制作進	行8					
14		制作演習   -	-14	ポートフォ	リオ・プレ	ゼン準備				
15		制作演習	-15	プレゼン・	デイベート	からの作品ブラッ	シュアップ			
16		制作演習	-16	単位認定:作	F品チェック					
<u></u>	到達目	票				口 <b>評価方法</b> 課題提出				
 	教科書	・参考文献				□ その他				

202	2年月	度(後期)		音響学科	斗 1年					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
				PA基礎		4	平井 克樹			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PA会社運営			
	授業権	<b>既要</b> 国家資格「舞台機構	請惠整作業( ⁻	音響調整作	業)3級」取	得に向けての対策				
<b>-</b>		<b>テーマ</b> 検定合格が1つのモ	ティベーシ	ョンとして	導きます。					
	授業項	頁目		□ 授業内	 ]容					
1	/	国家資格検定	対策 1	授業の目的。	と流れを解説					
2	/	機器概論	1	既存機器の種類						
3	/	機器概論	2	既存機器の物	寺徴					
4	/	機器概論	3	既存機器の氵	舌用方法					
5	/	機器概論	4	仕込み図作り	戉					
6	/	機器概論	5	実践に向け ⁻	7					
7	/	小テスト		理解確認	確認					
8	/	オペレート	1	オペレート	とは?					
9	/	オペレート	2	現場をイメー						
10	/	オペレート	8			障壁について				
11	/	オペレート	ì	その対処方決	法					
12	/	オペレート	5	仕込み図作り	苋					
13		オペレート	6	効率的なオイ	ペレートにつ	いて				
14	_/	実施試駁	Ì							
15		学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
16		学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	目標				<ul><li>口 評価方法</li><li>筆記試験(機材)</li></ul>				
~~~										
	教科	・参考文献				□ その他				

		受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
~~~				TV照明	~~~~~	4	藤屋 登			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			前期 4月~9月	演習	選択	64	TV照明会社勤務経験有り			
1	拉米									
j	授業棚	<b>t安</b> テレビ映像照明の基	基礎・業界一般	般知識						
		光の成分知識・実績			の使い方を習	3得				
]	授業ラ	<del>-</del>								
	•			•••••••						
]	授業項	目		□ 授業内	容					
1	/	TV照明業界	概論			明の仕事 概要を角				
2	/	映像照明知	識1	音楽番組ついて 音楽番組作品鑑賞〜解説						
3	/	映像照明知	識 2		ついて 作品鑑					
4		映像照明知	識 3			ついて 作品鑑賞〜	~解説			
5	/	映像照明知	識4	テレビカメラ・-	一眼レフカメラの	仕組み 被写界深原	·····································			
6	/	1灯照明実践からの	学ぶ表現法 1	ライトの方向性	生① レンブラン	トライトなど				
7	/	1灯照明実践からの	学ぶ表現法 2	ライトの方向性②						
8	/	1灯照明実践からのき	学ぶ表現法 3	光の成分① 照度・色温度・演色性						
9	/	1灯照明実践からの	学ぶ表現法 4	光の成分② ~①復習 カメラを通した映像の解説						
10	/	1灯照明実践からの	学ぶ表現法 5	光の成分③ 応用編 時間帯、季節感を出した実例						
11	/	1灯照明実践からの	学ぶ表現法 6	光の成分④ 応用編 点光源と面光源を使った実例						
12	/	1灯照明実践からの	学ぶ表現法 7	光の成分⑤	総集編 光の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク篇!			
13	/	実践テス	<b>\</b>	光の成分⑥	テーマに基づき	グループ実習①				
14	_/	実践テス	٢	光の成分⑦	テーマに基づき	グループ実習②〜総	<b>涂解説</b>			
15	-/-	学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施	•••••			
16	_/	学びの実証	戋	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
<u>:</u>	到達目	 ]標				□ 評価方法				
_						総合評価				
					·					

202	22年	<b>度(後期)</b>		音響学科	斗 1年		等口子仪 八加にシュアルテーク				
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
				TV照明		4	藤屋 登				
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
			後期 10月~3月	演習	選択	64	TV照明会社勤務経験有り				
	電気知識、スタジオ概要の習得、作品実習(コマーシャル) 音楽番組を通じて、照明のプラン 色の使い方										
	授業項	頁目		□ 授業内	]容						
1		簡易照明機材から学	ぶ照明概念	低電圧講習		せる電気知識					
2		ロケーションによる照明	演出の違い1	テレビスタ	ジオ・劇場	機構解説 ~違い					
3		ロケーションによる照明	演出の違い2	テレビ局ス:		~プロ現場の話					
4	/	ロケーションによる照明	]演出の違い3	コマーシャル		レンジ① 絵コン					
5		ロケーションによる照明	演出の違い4	コマーシャル	ル撮影にチャ	レンジ② 絵コン	テ制作				
6	/	ロケーションによる照明	演出の違い5	コマーシャル	ル撮影にチャ	レンジ③ 作品実	習				
7	/	ロケーションによる照明	演出の違い 6	コマーシャル撮影にチャレンジ④ 作品実習							
8	/	実践テスト	`	音楽番組にチャレンジ 例題作品鑑賞 照明プラン							
9	/	課題実践学習		照明プラン ~4グループ作品選定							
10		課題実践学習	₹2	作品実習① カメラ収録							
11		課題実践学習	3 3	作品実習② カメラ収録							
12	/	課題実践学習	₫ 4	作品実習③	カメラ収録						
13		課題実践学習	₹5	作品実習④	カメラ収録						
14		品評テスト写		作品評価 言	試写会 年間	振返り・・・					
15		学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施					
16		学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	アォロー実施					
	到達	目標				<b>口 評価方法</b> 筆記試験(機林	<u>ł</u> )				
	教科	書・参考文献			·	□ その他					

202	22年度(前期) 音響学科 1年											
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名					
			マネ	ジメント	基礎	4	浅川 三四郎					
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験					
			前期 4月~9月	演習	選択	64	プロデューサ業務実績有り					
	<b>授業概要</b> 実際の存在するアーティストをプロデュースを実践します。 写真学科への撮影依頼、楽曲の拡散を狙います。 <b>授業テーマ</b>											
		在校生アーティスト	をモデルに	実践します。	>							
	授業項	頁目		□ 授業内	]容							
1	/	マネージメント根	<b>玩論①</b>	マネージメント	と概論と基礎知	口識						
2	/	マネージメント根	既論②	マネージメント	と概論と基礎知	口識						
3	/	マネージメント根	既論③	マネージメント	マネージメントと概論と基礎知識							
4	/	マネージメント根	既論④	マネージメント	と概論と基礎知	口識						
5		マネージメント根	既論(5)	マネージメント	と概論と基礎知	口識						
6	/	マネージメント根	既論⑥	マネージメント	と概論と基礎知	口識						
7		筆記試験										
8		プロモーション	<b>①</b>	プロデュースと	プロモーション	概論 考え方						
9		プロモーション	<b>②</b>	プロデュースと	プロモーション	概論 考え方						
10		プロモーション	<b>③</b>		プロモーション							
11		プロモーション	<b>(</b> 4)	プロデュースと	プロモーション	概論 考え方						
12		プロモーション	<b>(</b> 5)	プロデュースと	プロモーション	概論 考え方						
13		プロモーション	<b>6</b>	プロデュースと	プロモーション	概論 考え方						
14		筆記試験										
15		学びの実践	È	学期末学習:	実践期間/学習	フォロー実施						
16		学びの実践	À P	学期末学習:	実践期間/学習	アォロー実施						
	到達	目標				<ul><li>□ 評価方法</li><li>筆記試験</li></ul>						
	教科	事 · 参考文献				□ その他						

202	22年月	芰(後期) —————————		音響学科	科 1年 ————					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			マネ	ジメント	基礎	4	浅川 三四郎			
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	プロデューサ業務実績有り			
	120 Alte II									
	授業権	<b>既要</b> 座学を通して、マネ	ージメント	とプロモー	ションスキル	レを身につけま	す。			
	•									
		テーマ   佐利心芝佐佐も田鮫	ı. →	J \ J \ = J -	1	5.1-01+ ウ/-	の十分 t ⇔ >			
		権利や著作権を理解	=し	メ <i>ン</i> ト人ギ.	ルの基礎を身	ォにフけ、宣伝	10万法を子ふ。			
	,									
	授業項	<b>頁目</b>	·	□ 授業内	]容					
1	/	実践1		プロデュースと	プロモーション	概論 考え方				
2	/	実践2		プロデュースと	プロモーション	概論 考え方				
3	/	実践3			プロモーション・					
4	/	実践4			プロモーション・					
5	/	実践5			プロモーション					
6	/	実践6			プロモーション					
7	/	実践7								
8	/	実践8		プロデュースブ	゚ランニング コン	セプト構築				
9	/	実践9		プロデュースプランニング コンセプト構築						
10	/	実践10		プロデュースブ	゚ランニング コン	セプト構築				
11	/	実践11		プロデュースブ	゚ランニング コン	セプト構築				
12	/	実践12		プロデュースブ	゚ランニング コン	セプト構築				
13	/	実践13			゚ランニング コン					
14	_/	実践14				真 撮影 提出				
15	f	学びの実践	į	学期末学習	実践期間/学習	コオロー実施				
16	/	学びの実践	į	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	目標				□ 評価方法				
						課題提出				
~~~~	~~~~	***************************************			*					
	教科:	書・・参考文献				□ その他				
_	5 0111	ᆿᅟᄬᄀᄉᄥ								

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
				舞台知識		4	西日本企画サービス			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			前期 4月~9月	演習	選択	64	イベント制作会社/ホール管理会社			
	授業権	野								
_			安全作業と	催事運用に	関する知識、	業種の壁を起	述えた幅広い知識の習得			
	,									
	· 授業·	 テーマ								
	1X.**.	, ,								
	授業項	 頁目		□ 授業内	容					
1	/	舞台知識1	L	さまざまな豺	舞台					
	/	舞台知識 2		舞台機構と言	2備について					
3		舞台知識3	3	照明設備について						
4	/	舞台知識4	1	音響設備につ	音響設備について					
5	/	舞台知識り	,)	映像設備につ	ついて					
6		筆記試験		検定テスト						
7	/	オリエンテージ	ノヨン	検定テスト予備日(第1クールの復習と今後の課題について)						
8	/	舞台知識(5	劇場の歴史と機能						
9	/	舞台知識了	7	上演へのプロセス						
10	/	舞台知識 8	}	公演における安全管理						
11	/	舞台知識()	安全作業と活	寅出技術					
12	/	舞台知識1	0	設備運用と						
13	/	筆記試験		検定テスト						
14	/	まとめ		検定テスト	予備日(第2	クールの復習と	今後の課題について)			
15	/	学びの実践	È	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施				
16	/	学びの実践	į	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	目標	•	•		□ 評価方法				
					<u>.</u>	筆記試験				
~~~~					-					
	教科i	・参考文献			•	□ その他				

2022年度(前期)

音響学科 1年

202	22年	度(後期)		音響学和	斗 1年					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
				舞台知識		4	西日本企画サービス			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	イベント制作会社/ホール管理会社			
	授業	劇場に関する知識、	安全作業と作	催事運用に	関する知識、	業種の壁を越	対えた幅広い知識の習得			
		テーマ								
	授業項	<b>貝日</b> 高校までの電気知識の	のおさらい。宝	口 授業内	谷					
1		同校までの電気知識への3 用知識への3	8	電気に関する	基礎的な確認					
2	/	イベントホール角	解説 1	舞台機構と設	と備について					
3	/	イベントホール角	解説 2	照明設備について						
4	/	イベントホール角	解説 3	音響設備につ	いて					
5	/	イベントホール角	解説 4	映像設備につ	いて					
6	/	知識確認テ	スト	検定テスト						
7	/	オリエンテーシ	タン	検定テスト予備日(第1クールの復習と今後の課題について)						
8	/	舞台の知識	i i	劇場の歴史と機能						
9	/	舞台進行につ		上演へのプロセス						
10		舞台の安全に	ついて	公演における安全管理						
11	/	安全実習	}	安全作業と演出技術						
12		舞台の知識	2	設備運用と基	本操作					
13	/	知識確認テ	スト	検定テスト						
14	_/	オリエンテーシ	<b>ヨン</b>	検定テスト予	備日(第2ク	-ルの復習と今後の	か課題について)			
15		学びの実践	Ì	学期末学習到	実践期間/学習	フォロー実施				
16		学びの実践	Ì	学期末学習家	実践期間/学習	プォロー実施				
	到達!	目標				<b>口 評価方法</b> 筆記試験				
	教科	・参考文献				□ その他				

2022:	年度(前期)		音響学科	斗 1年				
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
·		デジタ	タルペーシ	ンック	4	竹上 果奈		
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
		前期 4月~9月	演習	選択	64	デザイナー実務経験有り		
Ξ	<b>光業概要</b> コンテンツ制作に向けて 'hotoshopの習得)	こ、デザインン	ノフトの応見	用操作を身に	こつける(Adobe II	lustrator,		
	IIO(OSIIOPO) E (4)							
〕授	2業テーマ							
授	· <b>業項目</b> 	•	□ 授業内	]容 ————				
1 /	<b>/</b> CADについ	ŧ	C A D の基	本操作を理解	しよう!仕込み図	を書いてみよう〜下準備編〜		
2	Vectorworksにご (説明・基本	操作)	★簡単な図	の作成				
7	Vectorworksについ (基本操作:加工方	ついて②	★簡単な図	の作成				
· · · · · ·	Vectorworksに	ついて③	★簡単な図の	の作成				
	(基本操作:加工方 Vectorworksにこ	ついて④	★課題:図(	の作成(お題	はお楽しみ!)			
	(操作の復 ) 込み図の下 ²	8			認し、リストアッ	プする		
7	(図面の読み方:縮 仕込み図の下	準備②	<b>★</b> テスト:基本操作、図面についてのペーパーテスト					
	(音響機材の記号作 仕込み図の下	成、シンボル 準備③	★ペーパーテストの振り返り ★音響機材の仕上がりチェック					
	(番外編:試しに頂	}			_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ひ性エかりテェック   を書いてみよう~マスター編~		
' /	<b>CAD</b> につい 仕込み図の下		イラストレーターでの簡単な図面編集を覚えよう。					
0 7	(エスペランサホ- 仕込み図の下	8	★図面を読む	み取り、複製	する			
1 /	仕込み図のト (エスペランサホ- 仕込み図の下	۶	★図面を読む	み取り、複製	する			
2 /	仕込み図の下 (見やすい図面に	8	★他人が見	て、見やすい	図面をつくる			
3 -	仕込み図のf <エスペランサ	F成①	<b>★</b> イベント!	に合わせた仕	込み図の作成			
4/	/ イラストレーション	}	イラストレ・	ーターでの図	面編集①(イラス	トレーターの基本操作)		
5	学びの実	践	学期末学習:	実践期間/学習	アォロー実施			
.6 /	学びの実	践	学期末学習:	実践期間/学習	フォロー実施			
〕到	」達目標	·			□ 評価方法			
				·•	授業内での制作	F課題と期限内での提出 		
~~~~			•••••	•				
] <i>数</i>	(科書 ・ 参考文献				□ その他			
- 	VIII 포크스테							

2022年月	变(後期) ————————————————————————————————————	音響学科 1年 								
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担	当講師名			
·········		デジ	タルペーシ	ノック	4	竹」	上 果奈			
	コースNo.	授業期間	授業分類	& }	年間授業時数		ミ務経験			
		後期 10月~3月	演習	選択	64	<i>デ</i> ザイナ- 	-実務経験有り			
〕 授業権	既要									
	コンテンツ制作に同	句けて、デザ	インソフト	の応用操作を	と身につける(Add	obe Illustrator、				
,	Photoshopの習得)									
·] 授業 :	テーマ									
ı										
] 授業項	頁目		口 授業内	容						
1	文章作品	戉	WordとExce	lの基本操作						
2/	文章作月	戓	文書編集/表作成基本							
3	印刷につい	いて	印刷サイズ値	泣合わとまと	ø					
4/	作成 1		文書作成・2	グラフ作成						
5 /	作成 2		}	表作成・グラ	フ作成のまとめ					
6 y/.	プリント	1	}	グラフ作成の						
7	プリント	- 2	文書作成・カ	グラフ作成の	プリント2					
8 /	応用		WordとExce	で書類を作成	を作成することができること					
9	図形を使った	:資料1	図形や画像を	を使った文書	作成・ブックの利	用と管理/データ	ベース機能			
10 /	図形を使った	:資料 2	図形や画像を	を使った文書	作成問題・関数					
11/	まとめ	1	3	lのまとめの語						
12	まとめ	2		lのまとめの語						
13/	まとめ	3	Word · Exce	lのまとめの語	 題3					
14/	筆記試験	験	テスト							
15	学びの実	践	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施					
16	学びの実	践	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施					
] 到達	目標				口 評価方法					
				•	筆記試験(機材	†)				
				¥						
] 教科	書・参考文献				□ その他					

202	22年月	芰(前期)	音響学科 1年						
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			ļ	Jクルー l	\	4	安河内 智美		
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	選択	64	キャリアサポート		
	授業権	既要 国家資格「舞台機構	調整作業(音響調整作	業)3級」取	得に向けての対象	衰		
	授業		ティベーシ	ョンとして導きます。					
	授業項	真目		□ 授業内	容				
1	/	ガイダンス	z	年間スケジュ	ュール、授業	スケジュール伝達			
2	/	履歴書につい	ハて	履歴書指導	課題:履歴	書購入			
3	/	履歴書につい	ハて	履歴書指導(証明写真指導) 課題:GW研修レポート提出					
4	/	履歴書につい	ハて	履歴書指導	~~~~				
5	/	履歴書につい	ハて	履歴書指導	課題:証明	写真持参			
6	-/-	履歴書につい	ハて	履歴書指導 課題:アルバイト経歴書、封筒宛名書き					
7	/	履歴書につい	Į.	履歴書指完成/提出					
8		個人面談		課題:現場、イベント、体験スタッフ決め					
9		個人面談		課題:現場、イベント、体験スタッフ決め					
10	/	個人面談		課題:現場、	イベント、	体験スタッフ決め			
11	/	研修		7/31、8/1 🤊	九州放送機器	展 振替			
12	/	野外フェス研修 IT 振り返り	RIANGLEJ	課題:夏期》	舌動報告書提	出/九州放送機器展	レポート提出		
13	/	個人面談		課題:業界E	EXPOプロフシ	·			
14	/	個人面談		課題:業界E	EXPOプロフシ	·-			
15		学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施			
16	/	学びの実践	見	学期末学習家	実践期間/学習	フォロー実施			
	到達	目標				□ 評価方法 提出物評価			
	教科	事 · 参考文献				□ その他			

2022年	度(後期)		音響学科 1年 						
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
		IJ	クルー	\	4	安河内 智美			
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
		後期 10月~3月	演習	選択	64	キャリアサポート			
] 授業	概要								
	就活キックオフであ	る業界EXPO	に向けてフ	プロフシート	を作成する。				
	作成する上前期で行	fった自己分k	斤が有効に:	なる。					
7 海学	 テーマ								
J 1X *	., (
] 授業	·····································		□ 授業内						
1	プロフシートに	}) ロ プロフシート	作成				
2/	プロフシートに			プロフシート					
<i>-</i> /	プロフシートに			プロフシート					
4	/			プロフシート					
5	プロフシートに	ついて	業界EXPO用	プロフシート	作成				
6/	プロフシートに	ついて	プロフシー	トを使用して	のプレゼンテーショ	ン(社会性検定)			
7	プロフシートに	ついて			のプレゼンテーショ	()			
8 /	個人面談	į.		研究/企業ピッ	クアップ				
9	個人面談		課題:企業で	研究/企業ピッ	クアップ				
10 /	個人面談		課題:企業で	研究/企業ピッ	クアップ				
11	個人面談		課題:企業研究/企業ピックアップ						
12 /	個人面談	1	課題:企業	研究/企業ピッ	クアップ				
L3 /	個人面談		課題:企業	研究/企業ピッ	クアップ				
L4/	個人面談	1	課題:春期沒	活動スケジュ	ール、希望企業提出				
L5/	学びの実践	戋	学期末学習?	実践期間/学習	フォロー実施				
.6 /	学びの実践	戋	学期末学習	実践期間/学習	プォロー実施				
] 到達	: 目標	ł			口 評価方法				
					提出物				
~~~~~				*					
] 教科	書・参考文献				□ その他				
w- \ 1'					,5				

202	2年度	(前期)		音響学科	斗 2年		
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
				リクルー	<b>\</b>	4	大番 隆史
	⊐	ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			前期 4月~9月	演習	選択	64	キャリアサポート
	<b>授業概</b> 内 	<b>そ</b> 定に向けて個別サ	ポート				
	授業テ- 	-マ					
	授業項目	<b>=</b>		口 授業内	]容 ————		
1		リクルー	<u> </u>	個別サポ	<b>-</b> ⊦		
2		リクルー	<b> </b>	個別サポ			
3	/	リクルー		個別サポ	<b>-</b> ⊦		
4		リクルー		個別サポ			
5		リクルー	<b> </b>	個別サポ			
6		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>−</b>		
7	/	リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b> ⊦		
8	/	リクルー		個別サポ			
9	/	リクルー		個別サポ			
10		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>−</b>	•••••	
11		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>−</b> ⊦		
12		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b> ⊦		
13		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
14		リクルー	<u> </u>	個別サポ	— <b> </b>		
15		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>−</b> ⊦		
16		リクルー	<u> </u>	個別サポ	— <b> </b>		
	到達目機					<b>口 評価方法</b> 総合評価	
	教科書	・参考文献				□ その他	

202	22年度	き (後期)		音響学科	3 2年		
	j	受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			!	リクルート	<b>~</b>	4	大番 隆史
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	選択	64	キャリアサポート
	授業棚	内定に向けて個別サ	ポート				
П	··· 授業項	 					
1		リクルー	<b> </b>	個別サポ			
2		リクルー		<u></u>			
3		リクルー	<b> </b>	個別サポ	— <b> </b>		
4		リクルー	8	個別サポ	<b>-</b> ⊦		
5	/	リクルー	<b> </b>	個別サポ	— <b> </b>	•••••	
6		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
7	/	リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
8	/	リクルー	3	個別サポ			
9		リクルー		個別サポ			
10		リクルー	F	個別サポ	<b>-</b>		
11		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
12		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
13		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
14		リクルー	<b> </b>	個別サポ	<b>-</b>		
15		リクルー	<b> </b>	個別サポ	-		
16		リクルー	<b>F</b>	個別サポ			
	到達目	目標				□ <b>評価方法</b> 総合評価	
	教科書	・ 参考文献				□ その他	

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
				PA実習Ⅱ		4	國分優志				
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
			前期 4月~9月	演習	選択	64	PA実務経験多数				
	授業権	既要									
		学内イベントにおけ	るPA業務を	担当するため	めの準備授	業。					
	授業	テーマ									
	授業項	頁目		口 授業内	容						
1	/	ガイダンス		体験入学オ^	ペレーション						
2	/	電気知識		信号電圧と伝	云送・増幅に	関して					
3	/	シチュエーションによ		スマート調素	スマート調整実習						
4	/	ワイヤレスに関	して	ワイヤレス核							
5	/	音の定位に関して・a		オペレーショ							
6	/	イベント実践	浅	ライブ・演劇		策					
7	/	イベント実践	浅	ライブ・演劇イベント対策							
8	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策							
9	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策							
10	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策							
11	/	学内イベントタ		ArtsSonic・亨	型人员经过策						
12	/	学内イベント対		ArtsSonic・亨							
13	/	学内イベントタ	対策	ArtsSonic・亨	学園祭対策						
14	/	学内イベント対	対策	ArtsSonic・亨	型園祭対策						
15		学びの実践		学期末学習実	ミ践期間/学習	フォロー実施					
16		学びの実践	;	学期末学習実	ミ践期間/学習	フォロー実施					
	到達	目標				□ 評価方法					
	***********					筆記試験(機材	<del>기</del>				
	教科i	・参考文献				□ その他					

2022年度(前期)

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
				PA実習Ⅱ		4	國分優志			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PA実務経験多数			
	授業権									
		学内イベントにおけ	るPA業務を	担当するた	めの準備授	業。 ····································				
	,									
	授業	テーマ								
	授業項	頁目		口 授業内	容					
1	/	ガイダンス		体験入学オク	ペレーション					
2	/	電気知識		信号電圧と伝	長送・増幅に	関して				
3	/	シチュエーションによ	8	スマート調整実習						
4	/	ワイヤレスに関	して	ワイヤレスを		•••••				
5	/	音の定位に関して・a	ì	オペレーショ						
6	/	イベント実証	饯	ライブ・演劇イベント対策						
7	/	イベント実証	浅	ライブ・演劇イベント対策						
8	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策						
9	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策						
10		夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策						
11	/	学内イベント	8	ArtsSonic・当	学園祭対策					
12	/	学内イベント	対策	ArtsSonic・当	学園祭対策					
13	/	学内イベント	対策	ArtsSonic・当	学園祭対策					
14		学内イベント	対策	ArtsSonic・当	^学 園祭対策					
15		学びの実践	ŝ	学期末学習別	ミ践期間/学習	フォロー実施				
16		学びの実践	i i	学期末学習乳	ミ践期間/学習	フォロー実施				
	到達					<ul><li>口 評価方法</li><li>筆記試験(機材)</li></ul>				
						丰品 机炭 (烷)	KI)			
	教科	・参考文献				□ その他				

2022年度(後期)

202	2年月	隻(前期) ————————————————————————————————————		音響学科	斗 2年 <del></del>					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			ļ	照明実習	l	4	ライティングオフィスシャド			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			前期 4月~9月	演習	選択	64	照明会社			
	授業権	<b>既要</b> 学内イベントにおけ	る照明業務	を担当する。	ための準備抗	受業。				
	授業	テーマ								
_	授業項	頁目		口 授業内	容					
1		ガイダンス		体験入学オイ	ペレーション					
2	/	電気知識		信号電圧と信	云送・増幅に	関して				
3	/	シチュエーションによる	る照明調整論	スマート調整	整実習		•••••			
4	/	ムービング	}	ムービング村						
5	/	光の特性		オペレーショ						
6	./.	イベント実置	戋	ライブ・演劇	剝イベント対:	策				
7	/	イベント実践	浅	ライブ・演劇イベント対策						
8	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策						
9	/	夏体験特別講座	8	ライブ・演劇イベント対策						
10	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策						
11	/	学内イベント対	付策	ArtsSonic • ≒	学園祭対策					
12	/	学内イベント対	付策	ArtsSonic • ≒	学園祭対策					
13	/	学内イベントタ	付策	ArtsSonic • ≒	学園祭対策					
14	_/	学内イベント対	対策	ArtsSonic・≜	学園祭対策					
15		学びの実践	;	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施				
16		学びの実践	;	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	目標				<b>□ 評価方法</b> 総合評価	<b>5</b>			
 	教科 <b>i</b>	事 · 参考文献				□ その他				

202	22年	度 (後期)		音響学和	斗 2年					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			J	照明実習	l "	4	ライティングオフィスシャドー			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	照明会社			
	授業権	<b>既要</b> 学内イベントにおけ テーマ	る照明業務	を担当する	ための準備技	受業。				
	授業項	頁目		□ 授業内	啓					
1	/	ガイダンス		体験入学オイ	ペレーション					
2	/	電気知識		信号電圧と信	云送・増幅に	関して				
3	/	シチュエーションによ	3	I M.37	整実習					
4	/	ムービンク	\$	ムービング村	<b></b>					
5		光の特性		オペレーショ	ョン技法					
6		イベント実証	践	ライブ・演劇	剝イベント対抗	策				
7	/	イベント実証	饯	ライブ・演劇イベント対策						
8	/	夏体験特別講座	3	ライブ・演劇イベント対策						
9	/	夏体験特別講座	企画	ライブ・演劇イベント対策						
10		夏体験特別講座	企画		劇イベント対5	策				
11	/	学内イベント	対策	ArtsSonic • ≒	学園祭対策					
12	/	学内イベント	対策	ArtsSonic • ≜	学園祭対策					
13	/	学内イベント	対策	ArtsSonic • ≜	学園祭対策					
14	/	学内イベント	対策	ArtsSonic · ≜	学園祭対策					
15		学びの実践	į	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
16	_/	学びの実践	100	学期末学習9	実践期間/学習	プフォロー実施				
	到達	目標				□ <b>評価方法</b> 総合評価				
	教科	事・参考文献				□ その他				

202	22年	<b>芰(前期)</b>		音響学科	斗 2年					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			マー	·ケティン	グⅡ	4	壇浦 正幸			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	••••••		
			前期 4月~9月	演習	選択	64	マーケター			
		確率統計を中心にマ	'ーケティン	グ全般を学	びます。					
		テーマ 過去の事例を参考に	、今後のビ	ジョンを模:	索します。					
	授業項	頁目		□ 授業内	]容					
1	/	マーケティング	グ    -1	マーケティン	ングは有効か	?				
2	/	マーケティング	グ    -2	マーケティン	ングの実例					
3	/	マーケティング		ニーズはどこ	こにある?					
4	/	マーケティング		仮説を立てる						
5	/	マーケティング	グ    -5	他業界におり	ナるマーケテ	ィング				
6	/	マーケティング	グ    -6	音楽業界の	マーケティン	グ1				
7	/	マーケティング	:	音楽業界の	マーケティン	グ2 				
8	/	マーケティング			マーケティン	グ3				
9	/	マーケティング	グ    -9	音楽業界の	マーケティン	グ 4		•••••		
10	/	マーケティング			マーケティン	グ5				
11		マーケティンク	7    -11	音楽業界の	マーケティン	グ 6				
12	ļ.,	マーケティンク	7    -12	もう一度、「	マーケットセ	グメント				
13	ļ	マーケティング	7°    -13	リピーター。	とは?					
14		マーケティング	7    -14	筆記試験						
15		マーケティンク	ブ II -15	振り返り						
16		マーケティング	ブ II -16	振り返り						
	到達	目標				<ul><li><b>口 評価方法</b></li><li>筆記試験(機材)</li></ul>				
	教科	事 · 参考文献				口その他				

202	22年月	度 (後期)		音響学科	斗 2年		
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			マー	·ケティン	グⅡ	4	壇浦 正幸
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	選択	64	マーケター
		既要 確率統計を中心にマ	マーケティン 	グ全般を学(	びます。		
		, 一 ♥ 過去の事例を参考に	こ、今後のビ	ジョンを模製	索します。		
	授業項	<b>事</b> 目		□ 授業内	突		
1		マーケティング	ブ II -17		マーケティン	グ	
2	/	マーケティング	ブ II -18	エンタメ市均	易の中の音楽		
3	/	マーケティング	ブ    -19	レコード会社	生について		
4	/		ゲ II -20	出版社につい	ハて		
5	/	マーケティング	ゲ II -21	ユーザーは言	准?		
6	/	マーケティング		商品のウリる	を明確にする		
7	/	マーケティング	ブ 11 -23	価格設定			
8	/	マーケティング	ブ    -24	コロナ禍のき	ライブイベン	<u> </u>	
9		マーケティング	ブ II -25	作者の収入》	原		
10		マーケティング	:		ットで売り出		
11		マーケティング			ネットで収入		
12		マーケティング	ブ 11 -28	売れる曲の舞	共通点はある	のか?	
13		マーケティング	ブ 11 -29	日本で活躍す	する		
14		マーケティング	ブ II -30	世界で活躍す	する		
15		マーケティング	ブ    -31	筆記試験			
16	/	マーケティング	ブ II -32	振り返り			
	到達目	目標			· -	<ul><li>□ 評価方法</li><li>筆記試験(機材)</li></ul>	
	教科	書·参考文献				□ その他	

2022年	<b>羊度(前期)</b>		音響学科	斗 2年					
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当	4講師名		
		PTオ	ペレーシ	ョンⅡ	4	立川	眞佐人		
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実	務経験		
		前期 4月~9月	演習	選択	64	レコーディ	ングエンジニア		
口授	<b>業概要</b> 実践を通して、自分	の耳の感度	を高める。						
口授	<b>業テーマ</b> 機材に振り回される	ことない、	扱う機材で如何に自分の求める音に近づけるのか?						
口授	業項目		□ 授業内	容					
1	PT オペレーショ	ン॥ 1	オリエン	テーション					
2	✓ PT オペレーショ	ンⅡ2	プロツーノ	レズのイン	ストール				
3	✔ PT オペレーショ		プロツールズの原理						
4 /	/				考察・アプロ・	ーチ			
5	✓ PT オペレーショ	ン॥5	モニター	スピーカー	、ヘッドフォ	ン、モニター環	境		
6 -/	M PT オペレーショ	ンⅡ 6	ルームア	コースティ	ック				
7	✓ PT オペレーショ	ン॥ 7	シグナル経路						
8 /	✔ PT オペレーショ		マイクの基本						
9 /	✔ PT オペレーショ		1 11	テーション					
10 /	✓ PT オペレーショ:	ンⅡ 10	ミキサーの	の動作原理					
11	✔ PT オペレーショ:	ン॥ 11	ゲインスラ	テージの物!	理的理解				
12	✓ PT オペレーショ:	ンⅡ 12	イコライ	ザー動作原:	理と応用				
13 🥜	✔ PT オペレーショ:	ン= 13	コンプレ	y サーの動 [,]	作原理と実践				
14/	<b>∠</b> PT オペレーショ:	ン= 14	ミックスし	レベルバラ	ンスのとりか	た、その考え方			
15	<b>∠</b> PT オペレーショ:	ン॥ 15	学期末学習	実践期間/学習	プフォロー実施				
16 🖊	PT オペレーショ:	ンⅡ 16	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
	・ <b>達目標</b> たい自分の音を知る			- -	<b>ロ 評価方法</b> 提出物				
□教科	科書 ・ 参考文献				□ その他				

2022£	<b>羊度(後期)</b>		音響学科	斗 2年						
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
		PT才	ペレーショ	ョンⅡ	4	立川 眞佐人				
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
		後期 10月~3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア				
	<b>業概要</b> <u>実践を通して、自分</u> <u>************************************</u>			如何に自分の	D求める音に近	づけるのか?				
				1 DÁS						
	<b>業項目</b>		□ 授業内							
1 /	PT オペレーショ			テーション						
2 /	PT オペレーショ		楽器の構造、弦楽器							
3 <b>-</b> /	PT オペレーショ PT オペレーショ		栄 番の構成 録音手法	と器の構造、管楽器 3.ネギン						
4 <b>/</b> 5 <b>/</b>	PT オペレーショ		***************************************	器へのアプ	ローチーグル・	ーブのコントロール				
6	<ul><li>アファンコ</li><li>アファンコ</li></ul>									
7	<b>/</b> PT オペレーショ		楽曲への音楽的なアプローチとクリエイティビティ							
8	<b>/</b> PT オペレーショ	ンⅡ 24	楽器の録音と、録音時のプロセッサーの使い方							
9	✔ PT オペレーショ	ンⅡ 25	オリエン	テーション						
10 /	PT オペレーショ	ンⅡ 26	PCM と DS	SD、記録方	式による音質	の差異				
11 "/	<b>/</b> PT オペレーショ	ンⅡ 27	演算による	るサンプル	レートの変換、	、データ圧縮 、Dither技術				
12	✔ PT オペレーショ	ンⅡ 28	ハイレゾル	レーション	マスタリング	のアプローチ				
13	M PT オペレーショ	ンⅡ 29	MS(Sum a	and Differe	nce)プロセッ:	ンングの原理と実践				
14	M PT オペレーショ	ンⅡ 30	ミックスし	ノベルバラ	ンスのとりか	た、その考え方				
15	✔ PT オペレーショ	ン॥ 31	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施					
16 7	PT オペレーショ	ンⅡ 32	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施					
	<b>達目標</b> たい自分の音を知る			~ ~	<b>口 評価方法</b> 提出物					
□ 教科	科書・・参考文献				□ その他					

202	22年月	度(前期)		音響学科	斗 2年		
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			ライ	プ音響基礎	<b>地演習</b>	4	平井 克樹
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			前期 4月~9月	演習	選択	64	PA企業運営
		学内のライブイベン	トと連動し	、そのプラ)	ンと実践を [:]	行う。	
	授業方	₹ーマ 他学科との連携を最	重重要。				
	授業項	頁目		□ 授業内	容		
1	/	ライブ音響基礎	演習 1	ライブイべこ	ント実習		
2	/	ライブ音響基礎	演習 2	ライブイべこ	ント実習		
3	/	ライブ音響基礎	演習 3	ライブイべこ			
4	/	ライブ音響基礎	演習 4	ライブイベン	ント実習		
5	/	ライブ音響基礎	演習 5	ライブイベン	ント実習		
6	-/	ライブ音響基礎	演習 6	ライブイベン	ント実習		
7	/	ライブ音響基礎	演習 7	ライブイべこ	ント実習		
8	/	ライブ音響基礎	演習 8	ライブイベン	ント実習		
9	/	ライブ音響基礎	演習 9	ライブイベン	ント実習		
10		ライブ音響基礎だ	演習 10	ライブイべこ	ント実習	***************************************	
11	/	ライブ音響基礎	演習 11	ライブイべこ	ント実習		•••••
12	/	ライブ音響基礎だ	演習 12	ライブイべこ	ント実習		
13	/	ライブ音響基礎	演習 13	ライブイべこ	ント実習		
14	/	ライブ音響基礎	演習 14	ライブイべこ	ント実習		
15	/	ライブ音響基礎	演習 15	ライブイベン	ント実習	***************************************	
16	/	ライブ音響基礎)	演習 16	ライブイべこ	ント実習		
	到達目	目標				□ <b>評価方法</b> 総合評価	
	教科書	・ 参考文献				□ その他	

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			ライン	ブ音響基礎	<b>楚演習</b>	4	平井 克樹
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PA企業運営
	授業棚	<b>死要</b>					
		<b>%女</b> 学内のライブイベン	トと連動し、	、そのプラ	ンと実践を行	<b></b>	
	· ~						
_	<del>1202 m.</del> - 						
	授業ラ	<b>テーマ</b> 他学科との連携を最	重重要。				
-	ب سور					•••	
	授業項		•	□ 授業内			
1		ライブ音響基礎〉	演習 17	ライブイベン	ント実習		
2		ライブ音響基礎ス	演習 18	ライブイベン	ント実習		
3		ライブ音響基礎〉	寅習 19	ライブイベン	ント実習		
4		ライブ音響基礎シ	寅習 20	ライブイベン	ント実習	200000000000000000000000000000000000000	
5		ライブ音響基礎〉	寅習 21	ライブイべこ	ント実習 		
6	/	ライブ音響基礎》	寅習 22	ライブイベン	ント実習		
7	/	ライブ音響基礎〉	寅習 23	ライブイベン	 ント実習 		
8	/	ライブ音響基礎〉	寅習 24	ライブイベン	ント実習		
9			寅習 25	ライブイべこ	ント実習		
10	/	ライブ音響基礎〉	寅習 26	ライブイべこ	ント実習		
11	/	ライブ音響基礎》	寅習 27	ライブイべこ			
12	/	ライブ音響基礎》	寅習 28	ライブイべこ			
13	/	ライブ音響基礎》	寅習 29	ライブイべこ	ント実習		
14			寅習 30	ライブイべこ	ント実習		
15	/	ライブ音響基礎〉	寅習 31	ライブイべこ	ント実習		
16		ライブ音響基礎〉	寅習 32	ライブイべこ	ント実習		
	到達目	 ]標				□ 評価方法	
					· ·	総合評価	
~~~~				······	·		
	教科書	・ 参考文献			*	□ その他	
_	∞111	シ· ゥ人間	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	···	·	(公園	

2022年度(後期)

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
		,	ITBミキシング			4	立川 眞佐人	
•••••		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			前期 4月~9月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア	
П	授業概	— —		_ _				
_		既要 1年次に学んだスキ	ルを応用し	表現する				
_	-1373 -2111-							
	授業ラ	<i>;</i> − ∀						
_								
	授業項		}	□ 授業内				
1		ITBミキシング		DAW/Plugii	in実習			
		ITBミキシング	グ 2	DAW/Plugii	in実習			
3		ITBミキシング	グ 3	DAW/Plugii	in実習			
	/	ITBミキシング	グ 4	DAW/Plugii	in実習			
5		ITBミキシング	グ 5	DAW/Plugii	in実習			
6		ITBミキシング	グ 6	DAW/Plugii	in実習			
7		ITBミキシング		DAW/Plugii	in実習			
8		ITBミキシン?	グ 8	中間課題提出	出 			
9		ITBミキシン?	8	DAW/Plugii	in実習			
10		ITBミキシンク	ブ 10	DAW/Plugii	in実習			
11	ļļ	ITBミキシンク	ブ 11	DAW/Plugii	in実習			
12		ITBミキシンク	⁷ 12	DAW/Plugii	in実習			
13	/	ITBミキシンク	⁷ 13	DAW/Plugii	in実習			
14		ITBミキシンク	7° 14	DAW/Plugii	in実習			
15		ITBミキシンク	ブ 15	DAW/Plugii	n実習			
16		ITBミキシンク	* 16	最終課題提出	出			
	到達目	·				口 評価方法		
		活動に向け、現場にて	て対応できる	う基礎力を身	ネに付ける。	筆記試験(機材	才)	
~~~~	······	***************************************			·			
	教科書	書・参考文献				口 その他		
		> 3 <b>/ 18</b> /			-			

2022年度(前期)

		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			ITE	3ミキシン	グ	4	立川 眞佐人
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア
	100 Alle 1-						
	授業権	<b>既要</b> 1年次に学んだスキ	ルを応用し	表現する			
	٠						
_	دالد <del>(227</del>			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
	汉美.	テーマ					
	- 100 AU						
<u> </u>	授業項		}	□ 授業内			
	/	ITBミキシンク		DAW/Plugi			
	/	ITBミキシンク		DAW/Plugi			
		ITBミキシンク		DAW/Plugi			
	/			DAW/Plugi			
5	<b> </b>	ITBミキシンク		DAW/Plugi	n実習		
6		ITBミキシンク	9	DAW/Plugi	n実習		
7		ITBミキシンク	9	DAW/Plugi	n実習		
8		ITBミキシンク		中間課題提出	± 		
9	/	ITBミキシンク	ブ 25	DAW/Plugi	n実習		
10		ITBミキシンク	ブ 26	DAW/Plugi	n実習		
11		ITBミキシンク	ž 27	DAW/Plugi	n実習		
12		ITBミキシンク	ブ 28	DAW/Plugi	n実習		
13	/	ITBミキシンク	ž 29	DAW/Plugi	n実習		
14		ITBミキシンク	7 30	DAW/Plugi	n実習		
15		ITBミキシンク	ブ 31	DAW/Plugi	n実習		
16		ITBミキシンク	7 32	最終課題提出	± 	_	
	到達	ョ標				<b>ロ 評価方法</b> 提出物	
				***************************************	e		
	#	<b>E</b> , <b>A</b>					
	教科書	書・・参考文献				□ その他	
						•••••	

2022年度(後期)

.02		隻(前期) ————————————————————————————————————		音響学科	9 Z <del>T</del>				
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
				マジオワー	•	8	立川 眞佐人		
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択 <b>↑38 ↓</b> □	年間授業時数	実務経験  レコーディングエンジニア		
			前期 4月~9月	演習	選択	128	レコーティングエンシープ		
] ;	授業	概要							
	v	プロスタジオのワ	フークフロー	の理解					
	v								
] ;	授業	テーマ		••••••					
		プロスタジオの「	フークフロー	の理解					
	••								
] ;	授業			□ 授業府	内容				
1		スタジオワ	ーク 1	オリエン	テーション				
2	/	スタジオワ	ーク 2	各周波数制	帯の特徴				
3	/	スタジオワ	ーク 3	マスタリン	ング				
4	/	スタジオワ	ーク 4	デジタル	・アナログ				
5		スタジオワ	ーク5	位相・定位	立による音	の変化			
6	/	スタジオワ	ーク6	ラウドネス	ス等踏まえ	た各種メータ・	_		
7		スタジオワ	ーク 7	スタジオ機材リストの作成					
8	/	スタジオワ	ーク 8	ノイズについての解説					
9		スタジオワ	ーク 9	オリエン	テーション				
10		スタジオワ-	ーク 10	ワードクロ	コックの解	説と重要性			
1		スタジオワ-	ーク 11	アシスタン	ント業務の	心構え			
12		スタジオワ-	-ク12	·····		等の扱い方			
L3		スタジオワ-	-ク 13			についての解	<b>说</b>		
14		スタジオワ-		コンプ等を	を実践で扱	ってみる			
15		スタジオワ-	ーク 15	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施			
l6		スタジオワ-	ーク 16	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施			
]		目標				口 評価方法			
		プロスタジオのワ	フークフロー	の理解	•	課題、プレゼ	ンテーションでの評価		
~~~					r				
سسد افا	数科書	事 ・ 参考文献				□ その他			

	授業コード		授業科目名		油制松茶叶料	+0.1/2=#.47.6			
		}			週間授業時数	担当講師名			
		スタ	マジオワー	·ク	8	立川 眞佐人			
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
		後期 10月~3月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア			
冶素	概亜								
		ークフロー	の理解						
~									
授業	テーマ								
		ークフロー	の理解						
授業	項目								
		ク 17							
/					 エンジニア目?				
			トラブルシューティング						
/	スタジオワー	ク 20	作業の効率	≤化を図る!	実務訓練				
/	スタジオワー	ク 21	作業の効率	⊠化を図る:	実務訓練				
_/.	スタジオワー	ク 22	サンプルレ	ノート・ビ	ット深度によ	 る音の変化			
/	スタジオワー	ク 23	機材理解度チェック						
/		ž							
/	スタジオワー	ク 25	オリエンテ	ーション					
/	スタジオワー	ク 26	録音実習(2	1)					
/	スタジオワー	ク 27	録音実習(2	2)	•				
/	スタジオワー	ク 28	録音実習(3	3)					
/	スタジオワー	ク 29	録音実習(4	4)					
	スタジオワー	ク 30	ミキシング	ブ実習(1)					
	スタジオワー	ク 31	学期末学習実	€践期間/学習	¹ フォロー実施				
/	スタジオワー	ク 32	学期末学習実	ミ践期間/学習	フォロー実施				
到達					□ 評価方法	<u> </u>			
	プロスタジオのワ	ークフロー	の理解			· ジンテーションでの評価			
教科書	・ 参考文献				□ その他				
	授	授業テーマ プロスタジオのワーク スタジオワーク スタジオのワーク スタジオのワーク スタジオのワーク スタジオのワーク スタジオのワーク スタジオのワーク スタジオワーク スタジオワーク スタジオワーク スタジオのワーク スタジオワーク スタジオアーク スタジオアーク スタジオアーク スタンカーク スタンカ	### ### ### #########################	### プロスタジオのワークフローの理解 ***********************************	##デーマ	プロスタジオのワークフローの理解			

202	22年	变(前期)		音響学	科 2年		専门子仪 ル州モジュアルアーク		
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			PTオ	ペレーシ	ョン	4	山臺 昭広		
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	選択	64	PT業務実績有り		
		各現場での音響業務 どんな現場でも対応				D習得			
	】 授業テーマ 作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる								
		現場での機材トラフ	゛ル対応力を	身に着ける					
_	i n alle			— 1 21 Mk 1					
	授業項			□ 授業内 					
1		PTオペレーシ		オリエンテ・	ーション、課	題発表			
2	/	PTオペレーシ	ョン2	個別制作活動	動				
3		PTオペレーシ	∃ ン 3	個別制作活	動				
4		PTオペレーシ	ョン4	個別制作活動	動				
5		PTオペレーシ	ョン5	個別制作活	動				
6		PTオペレーシ	ョン6	個別制作活動	動				
7	/	PTオペレーシ		課題提出					
8	/	PTオペレーシ		課題発表					
9	/	PTオペレーシ	∃ > 9	個別制作活動	動				
10		PTオペレーシ	ョン 10	個別制作活動	動				
11		PTオペレーシ	ョン 11	個別制作活	動				
12	/	PTオペレーシ	ョン 12	個別制作活動	動				
13	/	PTオペレーシ		個別制作活動	動				
14		PTオペレーシ		課題提出					
15		PTオペレーシ	ョン 15	学期末学習	実践期間/学習]フォロー実施			
16	/	PTオペレーシ	ョン 16	学期末学習:	実践期間/学習	フォロー実施			
メン	到達 ・テナン	目標 ンス方法の習得			·	□ 評価方法 実技試験による記	平価		
	教科	書・参考文献			a.	□ その他			

	専門学校 九州ビジュアルアーツ								
202	22年	度(後期)		音響学科	斗 2年				
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師	師名	
			PTオ	ペレーシ	ョン	4	山臺	昭広	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務紹	圣験	
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PT業務実	績有り	
	122 AF 1	lar m							
Ш	授業	帆女 各現場での音響業	終の把握と現場	易状況に応	じた対応力の	の習得			
		どんな現場でも対							
	,				~~~~		***************************************		
	授業	テーマ							
		各現場での音響業 どんな現場でも対		シに善ける					
			1/0 C G 3/1 G 5	a vc /目 v / · O o)				
	授業	項目		□ 授業内	容				
1	/	PTオペレー:	ション 17	オリエンテ-	ーション、課	題発表			
2	/	PTオペレー	3	ン 18 個別制作活動					
3	/	PTオペレー:	}	個別制作活動	助				
4	/	PTオペレー:	ション 20	個別制作活動	助				
5	/	PTオペレー	ション 21	個別制作活動	助				
6	/	PTオペレー	ション 22	個別制作活動	助				
7	/	PTオペレー:	ション 23	課題提出					
8	/	PTオペレー:	ション 24	課題発表					
9	/	PTオペレー:	ション 25	個別制作活動	助				
10		PTオペレー:	ション 26	個別制作活動	助				
11	/	PTオペレー:	ション 27	個別制作活動	助				
12	/	}	ション 28	個別制作活動	助				
13	/	PTオペレー	3	個別制作活動	助				
14	/	PTオペレー	ション 30	課題提出					
15		PTオペレー:	ション 31	学期末学習乳	実践期間/学習	フォロー実施			
16	/	PTオペレー	ション 32	学期末学習9	実践期間/学習	フォロー実施			
	到達	 目標				口 評価方法			
メン	テナ	ンス方法の習得			-	実技試験による	評価		

.....

202	2年	度(前期)		音響学科	斗 2年				
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			アンサン	ンプルオ〜	ペレート	8	永田 健志、尾池 善充、	吉永匡	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	選択	128	ミュージシャン		
	授業	夙要 学内コンサートホー	ルを使ってい	の、「合奏 ₋	」を通じて生	生の楽器の音の)扱いを知る		
	授業:	テーマ							
	授業	項目		□ 授業内	容				
1	/	アンサンブルオ^	ペレート1	オリエンテ-	ーション				
2	/	アンサンブルオへ	ペレート2	シンプルな8	3ビートの楽曲	自、ライブ音響	・レコーディング実習		
3		アンサンブルオへ	ペレート3	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習					
4		アンサンブルオへ	ペレート4	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習					
5	-/-	アンサンブルオ〜	ペレート5	ドラムとべ-	-スの関係性	の理解(楽曲2)	、ライブ音響・レコーディング写	智	
6	/	アンサンブルオへ	ペレート 6	スピーディ-	ーな8ビートの)楽曲、ライブ音	音響・レコーディング実習	,	
7	/	アンサンブルオへ	ペレート7	スピーディ- 習	ーな8ビートの)楽曲をスムース	ヾに演奏、ライブ音響・レコーデ	ィング実	
8		アンサンブルオへ	į.	ブルース研究			ン、ライブ音響・レコーディング		
		アンサンブルオへ	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~						
			8				音響・レコーディング実習		
11	/	アンサンブルオペ アンサンブルオペ アンサンブルオペ	レート 11	シャッフルの	カリズム、ラ	イブ音響・レコ	ーディング実習		
12	/	アンサンブルオペ	レート 12	ファンクグル	レーヴ、ライ	ブ音響・レコー	ディング実習		
13		アンサンブルオペ	レート 13	セッション	(合奏)、ラ	イブ音響・レコ	ーディング実習		
14	/	アンサンブルオペ	レート 14	セッション	(合奏)、ラ	イブ音響・レコ	ーディング実習		
15		アンサンブルオペ	レート 15	ト 13 セッション(合奏)、ライブ音響・レコーディング実習 ト 14 セッション(合奏)、ライブ音響・レコーディング実習 ト 15 学期末学習実践期間/学習フォロー実施					
16		アンサンブルオペ	レート 16	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施		•••••	
	到達	目標				ロ 評価方法 課題、プレセ	; "ンテーションで評価		
	教科	書 · 参考文献				口 その他			

2022호	年度(後期)		音響学和	斗 2年			
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
		アンサン	ンプルオ〜	ペレート	8	永田 健志、尾池 善充、	吉永匡
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
		後期 10月~3月	演習	選択	128	ミュージシャン	/
口授	業概要 学内コンサートホー	ルを使って(の、「合奏 ₋	を通じて生	Eの楽器の音の)扱いを知る	
□授	業 テーマ 						
口授	業項目		口 授業内	容			
1	/ アンサンブルオペ	レート 17	オリエンテ-	ーション			
2 /	/ アンサンブルオペ	レート 18	シンプルな8	ピートの楽曲	ョ、ライブ音響・	レコーディング実習	
	/ アンサンブルオペ		シンプルな8	ピートの楽曲			
4	ノ アンサンブルオペ	レート 20	ドラムとべ-		ライブ音響・	レコーディング実習	
5 /	/ アンサンブルオペ	レート 21	ドラムとべ-	-スの関係性	の理解(楽曲2)	、ライブ音響・レコーディンク	*実習
6	/ アンサンブルオペ	レート 22	スピーディ-	-な8ビートの)楽曲、ライブ音	音響・レコーディング実習	
7	/ アンサンブルオペ	レート 23	スピーディ- 翌	-な8ビートの)楽曲をスムース	くに演奏、ライブ音響・レコー	ディング実
8 7	/ アンサンブルオペ	レート 24				ン、ライブ音響・レコーディン	
9 –/	/ アンサンブルオペ	レート 25					
10	/ アンサンブルオペ	レート 26	16ビートの	フィーリング	の習得、ライブ	音響・レコーディング実習	•••••
11	/ アンサンブルオペ	レート 27	シャッフルの	カリズム、ラ	イブ音響・レコ	ーディング実習	•••••
12 –	/ アンサンブルオペ	レート 28	ファンクグル	レーヴ、ライ	ブ音響・レコー	ディング実習	•••••••
13	アンサンブルオペアンサンブルオペ	レート 29	セッション	(合奏)、ラ	イブ音響・レコ	ーディング実習	
14	ノ アンサンブルオペ	レート 30	セッション	(合奏)、ラ	イブ音響・レコ	ーディング実習	
15	ル アンサンブルオペ	レート 31	学期末学習別	実践期間/学習	フォロー実施		•••••
	アンサンブルオペ						
口到流	達目標				ロ 評価方法 課題、プレセ	ンテーションで評価	
□教	科書・参考文献				□ その他		

2022年度	E (前期)		音響学科	4 2年					
ž	受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
		PAス	タッフワ	ーク	4	平井 克樹			
:	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
		前期 4月~9月	演習	選択	64	PA会社運営 —————————			
〕 授業概	腰								
•••	各現場での音響業務			 た対応力の	の習得				
···	どんな現場でも対応	できる力を!	身に着ける。						
] 授業テ	-− マ		••••••						
	作業効率を上げる為	のアイデアを	をイメージと	出来るように	こなる				
Į	見場での機材トラブ	ル対応力を	身に着ける						
] 授業項	[目		□ 授業内	容					
1	PAスタッフワ-	-ク1	メンテナンス	スの必要性と	方法などを説明				
2/	PAスタッフワ-	-ク2	工具の使い方	うと注意点に	ついて学ぶ		••••••		
3	PAスタッフワ-	機材在庫管理	里と故障機材	のリストアップと修理	計画	***********			
4	PAスタッフワ-	}	電気機の法令		わせ修理の方法を決定	:する			
5	PAスタッフワ-	-ク5	ホール業務の)内容と音響	システムの把握		**********		
6	PAスタッフワ-	-ク6	講演会、発表	長会、乗り込	み対応などの演習				
7	PAスタッフワ-	-ク7	テスト(学校	 機材に関す	る内容)				
8 /	PAスタッフワ-	-ク8	機材在庫管理	里と整理整頓	<u></u> 整理整頓				
9	PAスタッフワ-	-ク9	ケーブルメン	/テナンス	> Х				
10 /	PAスタッフワー		音楽催事に対	対応できる人	材となろう		**********		
11 -/-	PAスタッフワー	į	音楽催事に対	対応できる人	材となろう		**********		
12 /	PAスタッフワー	-ク 12	バンケット第	美務の内容と	音響システムの把握				
13 /	PAスタッフワー	-ク13	結婚式の式次	マ第に沿った	実習				
14	PAスタッフワ-	-ク 14	テスト(学校	炎機材に関す	る内容)				
15	5 学期末学習実践期間/学習フォロー実施								
16	PAスタッフワー	-ク 16	学期末学習実	ミ践期間/学習	習フォロー実施				
] 到達目	標				□ 評価方法				
	ス方法の習得実技記				筆記試験 (機材)				
見場活動に 寸ける。	:向け、現場にて対応	ふできる基礎	力を身に						
	・・参考文献				□ その他				

2022年度(後期)		音響学和	斗 2年		
授業コード		授業科目名			担当講師名
	PA <i>7</i>	スタッフワ	ーク	4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月~3月	演習	選択	64	PA会社運営

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得

どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□ 授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる 現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□ 授業項目

□ 授業内容

.....

1	/	PAスタッフワーク 17	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	/	PAスタッフワーク 18	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	/	PAスタッフワーク 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	/	PAスタッフワーク 20	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	/	PAスタッフワーク 21	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	/	PAスタッフワーク 22	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	/	PAスタッフワーク 23	テスト(学校機材に関する内容)
8	/	PAスタッフワーク 24	機材在庫管理と整理整頓
9	/	PAスタッフワーク 25	ケーブルメンテナンス
10	/	PAスタッフワーク 26	音楽催事に対応できる人材となろう
11	/	PAスタッフワーク 27	音楽催事に対応できる人材となろう
12	/	PAスタッフワーク 28	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	/	PAスタッフワーク 29	結婚式の式次第に沿った実習
14	/	PAスタッフワーク 30	テスト(学校機材に関する内容)
15	/	PAスタッフワーク 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	PAスタッフワーク 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標	口 評価方法
メンテナンス方法の習得実技試験による評価期 現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に	筆記試験 (機材)
付ける。	
□ 教科書 · 参考文献	□ その他

2022	年度(前期)		専門学校 九州ビジュアル 音響学科 2年						
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			Protools		4	山臺 昭広			
•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
		前期 4月~9月	演習	選択	64	PTオペレーター			
] 授	各現場での音響 どんな現場でも 選業テーマ 作業効率を上げ 現場での機材ト	対応できる力を; る為のアイデア:	身に着ける。 をイメージ						
コ 授			□ 授業内]容					
1	/ Proto	ols 1	メンテナン	スの必要性と	方法などを説明				
2	∕ Proto	ols 2	工具の使い	方と注意点に	ついて学ぶ				
3	✓ Proto	ols 3	機材在庫管理	理と故障機材	のリストアップと修	理計画			
4	/ Proto	ols 4	電気機の法を	令と照らし合:	わせ修理の方法を決	定する			
5	/ Proto	ols 5	ホール業務の	の内容と音響	システムの把握				
6	∕ Proto	ols 6	講演会、発	表会、乗り込	み対応などの演習				
7	✓ Proto	ols 7	AUXの説明						
	3	3							

3	/	Protools 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4		Protools 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	-/-	Protools 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	-/-	Protools 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	/	Protools 7	AUXの説明
8	/	Protools 8	機材在庫管理と整理整頓
9	/	Protools 9	ケーブルメンテナンス
10	/	Protools 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11	-/-	Protools 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12	/	Protools 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	/	Protools 13	結婚式の式次第に沿った実習
14	<i>f</i>	Protools 14	第3クール課題作成について
15	-/-	Protools 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	_/	Protools 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標	□ 評価方法
	筆記試験
□ 教科書 ・ 参考文献	口その他
」 教科書 ・ 参考文献	□ その他
山 教科書 ・ 参考文献	

							専門学校	九州ビジュアルアーツ		
202	22年月	度(後期)		音響学和	斗 2年					
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講	師名		
				Protools	昭広					
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務約	圣験		
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PTオペレ	·ーター		
П	授業権	严重								
		ル女 各現場での音響	業務の把握と現:							
		どんな現場でも	対応できる力を具	身に着ける。)					
		テーマ 作業効率を上げ	ろ	をイメージ	中本ストうし	ーかる				
	•		る為のアイテア。 ラブル対応力を∮		山木るより	C & Ø				
	授業項	頁目		□ 授業内]容					
1	/	Protoc	ols 17	メンテナンスの必要性と方法などを説明						
2		Protoc	ols 18	工具の使い方と注意点について学ぶ						
3	/	Protoc	ols 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画						
4		Protoc	ols 20	電気機の法を	令と照らし合	わせ修理の方法を決	定する			
5		Protoc	ols 21	ホール業務の	の内容と音響	システムの把握				
6	/	Protoc	ols 22	講演会、発	表会、乗り込	み対応などの演習				
7	/	Protoc	ols 23	第4クール誤	関作成につい	ヽて				
8	/	Protoc	ols 24	機材在庫管理	埋と整理整頓					
9	/	Protoc	ols 25	ケーブルメ	ンテナンス					
10	/	Protoc	ols 26	音楽催事に	対応できる人	材となろう				
11	/	Protoc	ols 27	音楽催事に	対応できる人	る人材となろう				
12	/	Protoc	ols 28	バンケット	業務の内容と	音響システムの把握				
13	/	Protoc	ols 29	結婚式の式	欠第に沿った	実習				
14	/	Protoc	ols 30	総括						
15		Protoc	ols 31	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
16		Protoc	ols 32	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施				
	到達	∃標	•			□ 評価方法				
_										

	_ 授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
	mannan -	××××××××××××××××××××××××××××××××××××××	L L	Excel/Wor	rd	4	小磯 一成	
	Ξ	1ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			前期 4月~9月	演習	選択	64	Macオペレーター	
_	授業概要	更						
		× xcel/Wordの基本的	的操作を学び、	活用方法?	を知る。			

_	 授業テ-	-マ						
]	 授業項[∃		口 授業内	'容			
1		Excel/Wo	rd 1	Excel/Word相	既要 			
2		Excel/Wo	ırd 2	ソフトウェフ	アの目的、概:	要、搭載機能につい	び学ぶ	
3		Excel/Wo	ırd 3			、インデント、箇条	書きなど基本技術を学ぶ。	
4		Excel/Wo	8	ページレイフ	アウトの書式	設定(余白、文字数	、行数など)を学ぶ。	
5		Excel/Wo	ord 5	Wordでの表作 成する。	作成や図形指	1画について学び、ま	長、図形や写真を組み込んだ文書を	
6		Excel/Wo	ord 6	課題作成 1				
7		Excel/Wo	ord 7	ソフトウェ	アの目的、概	張要、搭載機能につい	、て学ぶ。 	
8		Excel/Wo	ord 8	表を作成し、	体裁を整え	る方法を学ぶ。		
9		Excel/Wo	ord 9	データ表を作	 作成し、基本i 	的な関数を用いて計	·算する技術を学ぶ。 	
10		Excel/Wor	d 10	データ表を碁	基に各種グラ	フを作成する方法を	学ぶ。	
11		Excel/Wor	d 11	並べ替え、フ	ナートフィル	タなど、データ整理		
12		Excel/Wor	d 12	レポートなと	どで使えると、	便利な関数について	····································	
13		Excel/Wor	d 13	課題作成 2				
14		Excel/Wor	d 14	ビジネス文章	章を作成しよ	j !		
15		Excel/Wor	d 15	タイムスケシ	ジュールを作り	成しよう!		
16		Excel/Wor	rd 16	レポートのは	本裁を整え、i	提出する。 		
	到達目	票				口評価方法		
			***************************************		-	課題提出		
~~~								
]	教科書	・参考文献				□ その他		

202	2022年度(後期) 音響学科 2年									
	ž	受業コード	_	授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			I	Excel/Word		4	小磯 一成			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	Macオペレーター			
	Excel/Wordで書類を作成する。									
	授業項	[目		□ 授業内	容					
1		Excel/Word	17	オリエンテ-	ーション、ビ	ジネス文章とは?				
2	/	Excel/Word	18	案内文書を作成作成する						
3	/	Excel/Word	19	表作成機能をつかってみる						
4	/	Excel/Word	20	段組み機能						
5	/	Excel/Word	21	表・段組みを使用した文書の作成						
6		Excel/Word	22	Word機能の	応用 1					
7		Excel/Word	23	Word機能の	応用 2					
8	/	Excel/Word			・絶対参照と					
9	/	Excel/Word	25	/	の作成と編集					
10	/	Excel/Word	26	関数の応用1	l					
11	/	Excel/Word	27	条件関数を値	使用した表の	作成				
12	/	Excel/Word	28	関数の応用2	2(検索関数:vlo	ookup)				
13		Excel/Word	29	検索関数を値	使用した表の	作成				
14		Excel/Word	30	ピボットテ-	ーブル機能					
15		Excel/Word	31	課題						
16	/	Excel/Word	32	振り返り						
	到達目	標				□ <b>評価方法</b> 課題提出				
	教科書	・・参考文献				□ その他				

202	22年度	(前期)		音響学科	 斗 2年		
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
			企	画制作実	践	4	長谷 公平
	Ξ	1ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			前期 4月~9月	演習	選択	64	CMプランナー
	<b>授業概</b> チーム	<b>要</b> 企画をもとにした	グループ制作	乍			
	 <b>授業テ</b> ・ゼロか	<b>ーマ</b> ら立ち上げる企画	と実践				
	 授業項	目		□ 授業内	容		
1	/	企画制作実践	<b></b> 1	グループ制作	乍_ブレイン	ストーミング	
2	/	企画制作実践	見2	グループ制作	乍マーケテ	ィング分析	
3	/	企画制作実践	戋 3	グループ制作	乍企画制作		
4	/	企画制作実践	<b>嵬</b> 4	}	乍マーケッ	トリサーチ	
5		企画制作実践	戋 5	グループ制作	乍_レポート	制作	
6		企画制作実践	戋 6	理解度確認_	_レポートプ	レゼンテーション・	ディベート
7	/	企画制作実践	見 7	グループ制作	乍_ブレイン	ストーミング	
8		企画制作実践	<b>見</b> 8	グループ制作	乍_マーケテ	ィング分析	
9		企画制作実践	曵 9	グループ制作	乍企画制作		
10		企画制作実践	10	}	乍_マーケッ	トリサーチ	
11	/	企画制作実践		グループ制作	乍レポート		
12		企画制作実践		1		レゼンテーション・	ディベート
13	/	企画制作実践	13	ポートフォ!	<b>リオ作成</b>		
14		企画制作実践	14	ポートフォ!	<b>ノオ作成</b>		
15		企画制作実践	15	ポートフォ!	<b>ノオ作成</b>		
16		企画制作実践	16	課題テスト	:ポートフォ	リオ提出	
	<b>到達目</b> -ムとし	<b>票</b> て動き、自分の役割	割を持つ。			□ <b>評価方法</b> 筆記試験(機材)	
	教科書	・ 参考文献				□ その他	

202	022年度(後期) 音響学科 2年									
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			企	画制作実	践	4	長谷 公平			
•••••		ースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	CMプランナー			
	<b>授業概</b> チーム:  <b>授業テ</b> -	企画をもとにした	グループ制作	乍						
_		ら立ち上げる企画	と実践							
]	授業項	<b>∃</b>	,	口 授業内	容					
1		企画制作実践	戋 17	グループ制作	乍ブレイン	ストーミング				
2	/	企画制作実践	戋 18	グループ制作	乍マーケテ	ィング分析				
3		企画制作実践	戋 19		乍企画制作					
4	/	企画制作実践	戋 20		乍マーケッ	トリサーチ				
5		企画制作実践	戋 21	グループ制作	乍レポート	制作				
6		企画制作実践	戋 22	理解度確認_	_レポートプ	レゼンテーション・	ディベート			
7	/	企画制作実践	戋 23	グループ制作		ストーミング				
8	/	企画制作実践	戋 24	グループ制作		ィング分析				
9	/	企画制作実践	戋 25		乍企画制作					
10		企画制作実践	:		乍マーケッ	トリサーチ				
11		企画制作実践		グループ制作	乍レポート					
12		企画制作実践	戋 28			レゼンテーション・ラ	ディベート			
13	/	企画制作実践	戋 29	ポートフォ!	ノオ作成					
14	-/-	企画制作実践	戋 30	ポートフォ!	ノオ作成					
15	/	企画制作実践	戋 31	ポートフォ!	ノオ作成					
16		企画制作実践	戋 32	課題テスト	 : ポートフォ	 リオ提出				
	<b>到達目</b> ムとし ⁻	票 て動き、自分の役	割を持つ。		-	<ul><li>□ 評価方法</li><li>筆記試験(機材)</li></ul>				
 ]	教科書	・参考文献			_	□ その他				

2022年度(前期) 音響学科 2年									
	:	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			舞	台制作演	<b>習</b>	4	西日本企画サービス		
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	選択	64	イベント企画運営会社		
	授業ラ	舞台に関わる言葉を 限られた時間の中で マ	効率的に活	動するため			します。		
		実際のイベントと連	望動し、連宮	します。					
	授業項			□ 授業内	]容				
1		舞台制作演 ³	習 1	概要と進行					
2	/	舞台制作演 ³	習 2	劇場や舞台	での仕事内容				
3	/	舞台制作演 ³	習 3	舞台制作上	での必要な言	葉とマナー			
4	/	舞台制作演	習 4	道具と扱い方					
5		舞台制作演	習 5	搬入と搬出り	について				
6	/	舞台制作演	習 6	簡単なセッ	トを組んでみ	よう!			
7		舞台制作演	習 7	終演後の片位	付けの流れ				
8	/	舞台制作演	習 8 	振り返り					
9		舞台制作演	習 9	企画立案					
10		舞台制作演習	₹ 10		たSETを組ん ⁻	いでみよう!			
11	/	舞台制作演習	§ 11	リハーサル(	について 1				
12		舞台制作演習	¥ 12	リハーサル(	について 2				
13	/	舞台制作演習	图 13	リハーサル(	について 3				
14	/	舞台制作演習	₽ 14	タイムスケ:	ジュールの重	の重要性			
15	/	舞台制作演習	§ 15	舞台監督とり	は?				
16	-/-	舞台制作演習	星 16	前期総括					
	<b>到達</b> 舞台!	<b>1標</b> 監督の立ち位置や、	事前準備の』	<b>必要性を理</b> 角	解します。	□ <b>評価方法</b> 総合評価			
	教科書	・ 参考文献				□ その他			

202	2022年度(後期) 音響学科 2年									
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
	舞			台制作演	習	4	西日本企画サービス			
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	イベント企画運営会社			
	授業は授業	<b>集概要</b> 舞台に関わる言葉を知り、イベントを運営する流れを把握する。  限られた時間の中で効率的に活動するためのタイムスケジュールを作成します。 <b>≹テーマ</b> 実際のイベントと連動し、運営します。								
_	- - -									
	授業」			口授業内						
1	/	舞台制作演習		シチェーシ						
3		舞台制作演習 舞台制作演習		ンチェーン						
4	/	舞口型TF澳自 舞台制作演習								
 5	/	舞台制作演習		シチェーシ						
	/	舞台制作演習		シチェーシ	ョン 2					
7	/	舞台制作演習	₹ 23	シチェーシ	ョン 2					
8	/	舞台制作演習	₹ 24	シチェーシ	ョン 2					
9	/	舞台制作演習	7 of	シチュエー	ション 3					
10	/	舞台制作演習	₹ 26	シチュエー	ション 3					
11	/	舞台制作演習	₹ 27	シチュエー						
12	/	舞台制作演習	₹ 28	シチュエー						
13	/	舞台制作演習	₹ 29	シチュエー	ション 4					
14	_/	舞台制作演習	₹ 30	シチュエー	ション 4					
15		舞台制作演習	₹ 31	シチュエー	ション 4					
16	_/	舞台制作演習	₹ 32	後期総括						
	□ <b>到達目標</b> □ <b>評価方法</b> 無台監督の立ち位置や、事前準備の必要性を理解します。 総合評価									
	教科	書・参考文献				□ その他				

202	2022年度(前期) 音響学科 2年								
		受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
	Ţ			営手法実	践	4	長谷 公平		
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
			前期 4月~9月	演習	選択	64	CMプランナー		
	。  授業 <i>ラ</i>	他授業とリンクしな							
]	授業項	·····································		口 授業内	容				
1	/	運営手法実施	践 1	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレ-	-ション		
2	/	運営手法実践	践 2	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレー	-ション		
3	/	運営手法実置	銭 3			ングとシミュレ-			
4	/	運営手法実践	践 4	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレ-	-ション		
5	/	運営手法実施	践 5	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレ-	-ション		
6	/	運営手法実施	践 6			ングとシミュレ-			
7	/	運営手法実践	践 7	計画書と予算	章書の提出	内容評価			
8	/	運営手法実践	饯 8	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレ-	-ション		
9	/	運営手法実践	践 9	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレ-	-ション		
10	/	運営手法実践	~			ングとシミュレ-			
l1	/	運営手法実践	_	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレー	-ション		
12	/	運営手法実践	戋 12			ングとシミュレ-			
13	/	運営手法実践	戋 13	プロモーショ	ョンプランニ	ングとシミュレ-	-ション		
14	_/	運営手法実践	戋 14	計画書と予算	章書の提出と	プレゼンテーショ	ョン 内容評価		
15		運営手法実践	戋 15	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施			
16	/	運営手法実践	戋 16	学期末学習写	実践期間/学習	フォロー実施			
	<b>到達</b> [ 書の作		•			<b>口 評価方法</b> 総合評価			
 	教科書	・ 参考文献				□ その他			

2022年度(後期) 音響学科 2年										
	授業コード			授業科目名		週間授業時数	担当講師名			
			運	営手法実	践	4	長谷 公平			
	•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験			
			後期 10月~3月	演習	選択	64	CMプランナー			
	他授業とリンクしながら、予算書の作成を行う。									
		プレゼンテーション	/スキルの向_	Ł。						
	授業	項目		□ 授業内容						
1		運営手法実践	浅 17	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
2	/	運営手法実践	浅 18	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
3	/	運営手法実践	浅 19		ョンプランに	沿った宣伝				
4	/	運営手法実践	浅 20	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
5		運営手法実践	浅 21	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
6	_/	運営手法実践	賎 22	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
7		運営手法実践	线 23	プロモーシ	ョン実績の内	容評価				
8		運営手法実践	3		ョンプランに	沿った宣伝				
9		運営手法実践	浅 25	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
10		運営手法実践	浅 26		ョンプランに					
11		運営手法実践	賎 27		ョンプランに					
12		運営手法実践	浅 28	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
13		運営手法実践	浅 29	プロモーシ	ョンプランに	沿った宣伝				
14		運営手法実践	浅 30	プロモーシ	ョン実績の内	容評価				
15		運営手法実践	浅 31	学期末学習	実践期間/学習	<b>習フォロー実施</b>				
16	/.	運営手法実践	賎 32	学期末学習?	実践期間/学習	<b>習フォロー実施</b>				
宣伝	<b>到達</b> 媒体	<b>目標</b> の完成度				□ <b>評価方法</b> 総合評価				
	教科	書・参考文献				□ その他				

	専門学校 九州ビジュアルアーツ								
202	22年	<b>芰(前期)</b>		音響学和	斗 2年				
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当記	<b>講師名</b>	
			アイディ	アプランニ	ニング実践	4	上田	真美	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務	経験	
			前期 4月~9月	演習	選択	64	AD事務	経験有り	
_	授業権	भा स							
	汉未1	<del>观女</del> 脳の中のヒラメキ	- や深まった考.	えを文章や	図などに視覚	覚化します。			
	アイディアが具現化できるものかどうかを検証します。								
_	leer alle								
	授業:	<b>テーマ</b> まずは、面白いと	: 感じる実感を	捉えます。・	その実感を排	ŧ感に変えていくる	ことを実践して	いきます。	
	まずは、面白いと感じる実感を捉えます。その実感を共感に変えていくことを実践していきます。								
	·								
	授業項	<b>頁目</b>			]容 ————				
1		アイディアプラン	⁄ニング実践 1	授業の流れ	と目的を共有	します			
2		アイディアプラン	⁄ニング実践 2	身近な「面	白い・楽しい	について話す			
3		アイディアプラン	⁄ニング実践 3	その理由を!	見つける				
4		アイディアプラン	/ニング実践 4		ってオリジナ	ル企画を考える	***************************************		
5	/	アイディアプラン	/ニング実践 5	企画をプレー	ゼンテーショ	ンする			
6	/	アイディアプラン	⁄ニング実践 6	企画を再考 ⁻	する				
7	/	アイディアプラン	/ニング実践 7	前半振り返	Ŋ				
8	/	アイディアプラン	/ニング実践 8	樹形図を使	ったアイデア	#L①			
9	/	アイディアプラン	⁄ニング実践 9	樹形図を使	ったアイデア	出し②			
10	/				形図を使ったアイデア出し③				
11		アイディアプラン	ニング実践 11	アイデアを約	イデアを組み合わせる①				
12	/	アイディアプラン	ニング実践 12	アイデアを約	:組み合わせる②				
13		アイディアプラン	ニング実践 13	条件付きの3	R件付きの企画について考える①				
14	_/	アイディアプラン	ニング実践 14	条件付きの分	企画について	考える②			
15		アイディアプラン	ニング実践 15	学期末学習	実践期間/学習	'フォロー実施			
		アイディアプラン							
	到達					□ 評価方法			
		アを(視覚化)ま	とめる		<b>い 計画力法</b> 総合評価				
				••••••	~				
 □	教科	まい 参考文献				□ その他			
_	<b>5</b> 2171	■ 参与关例							

.....

......

2022年度(後期)		音響学和	斗 2年		
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイディ	アプランニ	ング実践	4	上田 真美
コースNo.	授業期間		必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月~3月	演習	選択	64	AD実務経験有り

## □ 授業概要

イベントを運営する上で、仲間との情報のスムーズな共有や、より良いものを作るための会議などでの深める作業を、ブレインストーミングの方法で体感します。

### □ 授業テーマ

いいものを作ろうとするとき、必ずといっていいほど、意見の相違が生まれます。この相違は、いいものが生まれるために起こります。この理解のもと、次どこに着地点を持っておけばいいいのか?を探ります。

# □ 授業項目 □ 授業内容

1	/	アイディアプランニング実践 17	ブレインストーミングを知る
2	/	アイディアプランニング実践 18	テーマ①についてブレストする
3	/	アイディアプランニング実践 19	テーマ①のアイデアを整理する
4	/	アイディアプランニング実践 20	テーマ②についてブレストする
5	/	アイディアプランニング実践 21	テーマ②のアイデアを整理する
6	/	アイディアプランニング実践 22	テーマ③についてブレストする
7	/	アイディアプランニング実践 23	前半振り返り
8	/	アイディアプランニング実践 24	テーマ①についてグループ企画を考えプレゼンする
9	/	アイディアプランニング実践 25	テーマ①のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
10	/	アイディアプランニング実践 26	テーマ②についてグループ企画を考えプレゼンする
11	/	アイディアプランニング実践 27	テーマ②のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
12	/	アイディアプランニング実践 28	テーマ③についてグループ企画を考えプレゼンする
13	/	アイディアプランニング実践 29	テーマ③のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
14	_/	アイディアプランニング実践 30	1年間のまとめ
15		アイディアプランニング実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	アイディアプランニング実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標	口 評価方法
他者の意見を吸収し、自分の意見との融合を目指す	ブレインストーミングによる総合評価
□ 教科書 ・ 参考文献	□ その他
	•••••••••••

 2022年度(前	·加)		1 2年		専門学校	九州ビジュアルアー
<b>2022年及(F</b> 授業コ		授業科目名	т 4 <del>11</del>	週間授業時数	担当講	師夕
1又未一	_	業界進出実	<b>建</b>	<u> </u>	大番	
コース	.No. 授業期f		必須・必須選択・選択	<b>平</b> 年間授業時数	実務	
	前期 4月~		選択	464	キャリア・	
	- 必要な書類の必要性を 日な面談を通して、受験			受験に備えます。		
 <b>授業テーマ</b> 業界E	XPOに向けて、履歴書、	プロフィール	シートの完	成を目指します。		
□ 授業項目		□ 授業内	容			
1	業界進出実践 1	履歴書、プロ	コフィールシ	ート作成の指導		
2 /	業界進出実践 2	履歴書、プロ	コフィールシ	一ト作成の指導		
3	業界進出実践 3	\$		ート作成の指導		
4/	業界進出実践 4	{		ート作成の指導		
5	業界進出実践 5	履歴書、プロ	コフィールシ	ート作成の指導		•••••
6/	業界進出実践 6	履歴書、プロ	コフィールシ	ート作成の指導		
7	業界進出実践 7	履歴書、プロ	フィールシ	一ト作成の指導		
8 -/-	業界進出実践 8	テーマに沿っ	った内容のプ	レゼンと合評/志望	する企業の選定	
9/-	業界進出実践 9	テーマに沿っ	った内容のプ	レゼンと合評/志望	する企業の選定	
10	業界進出実践 10	テーマに沿っ	った内容のプ	レゼンと合評/志望	する企業の選定	
11/	業界進出実践 11	<b>\$</b>		レゼンと合評/志望		
12 -	業界進出実践 12	テーマに沿っ	った内容のプ	レゼンと合評/志望	する企業の選定	
13	業界進出実践 13	テーマに沿っ	った内容のプ	レゼンと合評/志望	する企業の選定	
14/	業界進出実践 14	春活動期間の	)目標設定と	スケジュール確認		
15	業界進出実践 15	学期末学習実	₹践期間/学習	<b>習フォロー実施</b>		
16	業界進出実践 16	学期末学習実	ミ践期間/学習	プォロー実施		
<b>ロ 到達目標</b> プロフィールシ	ートの完成			<b>ロ 評価方法</b> 履歴書、フォロ	フィールシート提	· · ·
□ 教科書 ・	参考文献			□ その他		

202	2年度	) (後期)		音響学和	斗 2年						
	j	受業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
			業	界進出実	践	4	大番 隆史				
		コースNo.	0. 授業期間 授業分類 🍇 🚓 🏎 年間授業時数 実務経験								
			後期 10月~3月	演習	選択	64	キャリアサポート				
		9月70%内定を	:目指し、個別	にサポート	します。						
_	授業テ 	提出物を意識させ	と、より丁寧な	提出物、感	情移入する抗	是出物を目指す。					
	授業項	[8]		口 授業内	容						
1		業界進出乳	実践 17	春休み活動類	期間振り返り	/企業の選定と履歴	<b>書作成のフォロー</b>				
2	_/	業界進出	実践 18	企業の選定の	と履歴書作成	のフォロー					
3		業界進出領	実践 19	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
4		業界進出貿	実践 20	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
5		業界進出第	実践 21	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
6	/	業界進出	実践 22	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
7	/	業界進出	実践 23	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
8	/	業界進出	実践 24		と履歴書作成	のフォロー					
9	/	業界進出	実践 25		と履歴書作成	のフォロー					
10	/	業界進出写	実践 26	夏活動期間の	の就職活動計	画を作成					
11	/	業界進出第	実践 27	夏活活動期間	間振り返り/쇼	主業の選定と履歴書作	<b>乍成のフォロー</b>				
12	/	業界進出	実践 28	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
13	/	業界進出第	実践 29	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
14	/	業界進出第	実践 30	企業の選定。	と履歴書作成	のフォロー					
15		業界進出	実践 31	学期末学習	実践期間/学習	プフォロー実施					
16		業界進出第	実践 32	学期末学習	実践期間/学習	プフォロー実施					
	<b>到達</b> 目 授業期	目標 月間中に内定70%を	を目指す。			<b>口 評価方法</b> 総合評価					
	教科書	・・参考文献				□ その他					

2022		期)	<b>音</b>	音 <b>響</b> 学科	斗 1年			州ビジュアルア-
	授業コー	- F	授美	業科目名		週間授業時数	担当講師	名
			企	業研修		14	大番 階	史
	コースト	√0. 授業	期間 授	業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
		後期 10	月~3月	演習	選択	224	キャリアサポ・	ート実績
□ #	受業概要							
_ ~		験の重要性を理解し	/、現場で	で実践る	を体験する。	>		
	(学内	での準備も含む)						
¬ +s	 受業テーマ							
_ #		は学べない、撮影明	見場での直	接的な気	気づきを得	る。		
<b>-</b> .				ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ				
: T :	受業項目 			授業内				
1		企業研修 1					験を直接的に体験	
2		企業研修 2					験を直接的に体験	
3		企業研修 3			学内で	は学べない経り	験を直接的に体験	È
4		企業研修 4			学内で	な学べない経り	験を直接的に体験	È
5		企業研修 5			学内で	な学べない経り	験を直接的に体験	È
6		企業研修 6			学内で	は学べない経り	験を直接的に体験	È
7	/	企業研修 7			学内で	は学べない経	験を直接的に体験	È
8	/	企業研修 8			学内で	は学べない経	験を直接的に体験	È
9	/	企業研修 9			学内で	は学べない経	験を直接的に体験	È
10	/	企業研修 10		***************************************	学内で	な学べない経り	験を直接的に体験	È
11	/	企業研修 11			学内で	な学べない経り	験を直接的に体験	È
12	/	企業研修 12			学内で	な学べない経り	験を直接的に体験	È
13		企業研修 13			学内で	は学べない経り	験を直接的に体験	ŧ
14		企業研修 14			学内で	は学べない経り	験を直接的に体験	È
		企業研修 15			学内で	は学べない経り	験を直接的に体験	È
15	<b>/</b> }							
15 16		企業研修 16			学内で	は学べない経	験を直接的に体験	È
16		企業研修 16			学内で	は学べない経  <b>ロ 評価方法</b>	験を直接的に体影	

202	22年度	(前期)		音響学科	4 2年			
	授	業コード		授業科目名		週間授業時数	担当請	 手師名
				企業研修		14	大番	隆史
•••••	=	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務	
			前期 4月~9月	演習	選択	224	キャリアサ	ポート実績
_	授業概	<b>क</b>						
_		<del>女</del> 見場経験の重要性を	理解し、現場	場での実践を	を体験する。			
		(学内での準備も含	it)					
_	極幸 —							
	授業テ	<b>ーマ</b> 受業では学べない、	撮影現場での	の直接的な領	気づきを得る	, 9 o		
	授業項	目 ————	}	□ 授業内				
1		企業研修	17				験を直接的に依	
2		企業研修	18				験を直接的に体	
3	/	企業研修	19		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
4	/	企業研修	20		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
5		企業研修	21		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
6	/	企業研修	22		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
7	/	企業研修	23		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
8	/	企業研修	24		学内で	は学べない経	験を直接的に体	<b> </b>
9	/	企業研修	25		学内で	は学べない経	験を直接的に体	<b> </b>
10	/	企業研修	<b>§</b>		学内で	は学べない経	験を直接的に体	<b> </b>
11	/	企業研修	į		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b></b> 上験
12	1	企業研修	28		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
13	1	企業研修	29		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b> </b>
14	/	企業研修	30		学内で	は学べない経	験を直接的に依	<b>卜験</b>
15	1	企業研修	31	•••••	学内で	は学べない経	験を直接的に体	▶験
16	/	企業研修	32		学内で	は学べない経	験を直接的に体	<b>本験</b>
	到達目	標				□ 評価方法		
~~~	現場理	解を深める。				企業側からの評	価	
]	教科書	・参考文献				□ その他		
-								

.....

	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			企業研修		14	大番を		
	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験		
		後期 10月~3月	演習	選択	224	 キャリアサポート実績		
	業概要 現場経験の重要性を (学内での準備も含 業テーマ 授業では学べない、	t)			5.			
] 授詞	業項目		□ 授業内	容				
1	企業研修 3	33		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
2	企業研修 3	34	•••••	学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
3	企業研修3	35		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
4	企業研修3	36		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
5	企業研修 3	37		学内では学べない経験を直接的に体験				
6	企業研修 3	38		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
7	企業研修 3	39	•	学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
8	企業研修 4	10		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
9	企業研修工	11		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
10	企業研修 4	12		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
11	企業研修工	13		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
12	企業研修工	14		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
13	企業研修 4	15		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
14 🖊	人 企業研修 4	16		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
15	企業研修工	17		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
16	企業研修4	18		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験		
	達目標 場理解を深める。				□ 評価方法企業側からの評	価		
□教	科書・・参考文献			•	□ その他			

.....

_	-	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
		1×× 1		文案(4) 日本 企業研修		12	大番 隆史		
		コースNo.	授業期間	上来1771多 授業分類	・・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年間授業時数	八街 		
			前期 4月~9月	演習	選択	192	キャリアサポート実績		
	Test va		<u>; </u>		:	<u>; </u>			
J	授業棚	既要 現場経験の重要性:	を理解し、現場	易での実践	を体験する。				
	~	(学内での準備も							
_	Lees are:								
]	授業を	テーマ 授業では学べない、	. 撮影現場での	り直接的な	気づきを得る	3 。			
		3	20 m C V		14 '	-			
_	···								
<u></u>	授業項	見目	F	□ 授業内					
1							経験を直接的に体験 		
2	/	企業研修	II-2				経験を直接的に体験		
3	/	企業研修	II-3				経験を直接的に体験		
4		企業研修	-4				経験を直接的に体験		
5	/	企業研修	II-5				経験を直接的に体験		
6	/	企業研修	II-6				経験を直接的に体験		
7		企業研修	II-7				経験を直接的に体験		
8	/	企業研修	II-8				験を直接的に体験		
9	/	企業研修	II-9		学内では学べない経験を直接的に体験				
10	/	企業研修	II-10		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
11	/	企業研修	II-11				経験を直接的に体験		
12	/	企業研修	II-12		学内で	は学べない経	と験を直接的に体験		
13	/	企業研修	II-13		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
14	/	企業研修	II-14		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
15	/	企業研修	II-15		学内で	は学べない経	と験を直接的に体験		
16	/	企業研修	II-16		学内で	は学べない経	験を直接的に体験		
]	到達目					□ 評価方法			
	現場理	理解を深める。				企業側からの評	平価		
~~ 					~ u				
]	教科書	事 ・ 参考文献				□ その他			

2022	年度(後期)		音響学科	斗 2年		
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		1	≧業研修Ⅰ	l	12	大番 隆史
	⊐−スNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
		後期 10月~3月	演習	選択	192	キャリアサポート実績
]授	登業概要 現場経験の重要性:	を押解し 羽堤	引での宝珠:	を休齢する		
	(学内での準備も1			C17-000 00		
授	受業テーマ					
	授業では学べない、	撮影現場での	直接的な	気づきを得る	5 .	
接		1	コ 授業内			
	/ 企業研修	}			1+学べかい終	
2						www.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m.m
3	企業研修					験を直接的に体験
	企業研修					
4 -	企業研修			~~~~~~		験を直接的に体験
ō ,	企業研修					験を直接的に体験
6	企業研修					験を直接的に体験
7	企業研修	II-23				験を直接的に体験
3	企業研修	II-24				験を直接的に体験
9 ,	企業研修	II-25		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験
.0	企業研修	II-26		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験
1	企業研修	II-27		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験
2	企業研修	II-28		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験
3	企業研修	II-29		学内で	は学べない経	験を直接的に体験
.4	/ 企業研修	II-30		学内で	は学べない経	験を直接的に体験
.5	企業研修	II-31		学内で	は学べない経	験を直接的に体験
.6	企業研修	II-32		学内で	は学べない経り	験を直接的に体験
] 到	 J達目標	٠			□ 評価方法	
玛	見場理解を深める。			<u>.</u>	企業側からの評	価
			~~~~~	-	•••••	

2022年	度(前期)		音響学科	斗 2年		
	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		イペン	トプラン	ニング	4	高松 由紀子
•••••	コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
		前期 4月~9月	演習	選択	64	AD実務経験者
] 授業	<b>概要</b> 実践を通して、到	達目標を明確	にしながら	イベントのヨ	手法を学びます。	
□ 授業	テーマ					
	実践における障壁	を事前に捉え	る力を養い	ます。		
□ 授業	 項目		口 授業内	]容		
1	イベントプラン	ノニング 1	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
2/	イベントプラン	/ニング 2	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
3	イベントプラン	ノニング 3	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
4	イベントプラン	ノニング 4	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
5	イベントプラン	/ニング 5	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
6	イベントプラン	ノニング 6	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
7	イベントプラン	/ニング 7	途中振り返	Ŋ		
8 /	イベントプラン	ノニング 8	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
9 /	イベントプラン	ィニング 9	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
10	イベントプラン	′ニング 10			イベントの実施	
11	イベントプラン	ニング 11	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
12	イベントプラン	ニング 12	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
	イベントプラン					
2 '	イベントプラン	ì	!			
15	イベントプラン	′ニング 15	学期末学習	実践期間/学習	アォロー実施	
16	イベントプラン	ニング 16	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施	
<b>ロ 到達</b> イベント	<b>目標</b> を成立させる				<b>口 評価方法</b> 総合評価	
			~~~~~	*		
□ 教科	書・参考文献				□ その他	

		授業コード コースNo.	イベン	授業科目名		週間授業時数	担业≇師々
	•••••	コースNo.	イベン			旭即汉未吋奴	担当講師名
		コースNo.	}	トプラン	ニング	4	高松 由紀子
			授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	選択	64	AD実務経験者
	授業	既要 実践を通して、到達	目標を明確に	こしながら	イベントのミ	F法を学びます。	
	授業	テーマ					
		実践における障壁を	事前に捉え	る力を養いる	ます。		
				••••••			
	授業項	頁目		口 授業内	容		
1	/	イベントプランニ	ニング 17	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
2	/	イベントプランニ	ニング 18	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
3	/	イベントプランニ	ニング 19	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
4	/	イベントプランニ	ニング 20	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
5		イベントプランニ	ニング 21	到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
6	/	イベントプランニ		到達テーマの	の企画制作手	法と基礎的考え方	
7	/	イベントプラン <i>:</i>	ニング 23	途中振り返り	J		
8	/	イベントプラン:	ニング 24	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
9	/	イベントプランニ	ニング 25	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
10	/	イベントプランニ	ニング 26	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
11		イベントプランニ	ニング 27	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
	3 3	イベントプラン <i>:</i>	ニング 28	到達テーマの	の企画制作	イベントの実施	
		イベントプラン:					
		イベントプラン <i>:</i>	ŝ				
15		イベントプラン=	ニング 31	学期末学習到	実践期間/学習	フォロー実施	
16	/.	イベントプランニ	ニング 32	学期末学習到	実践期間/学習	フォロー実施	
	到達 ! ント?	目標 を成立させる				□ 評価方法 総合評価	
	教科	事 · 参考文献			-	□ その他	

202	22年	度(前期)		音響学科	 斗 2年						
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名				
			舞	台音響技	術	4	平井 克樹				
•••••		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験				
		前期4月~9月 演習 選択 64 PA会社運営									
	授業	既要 各現場での音響業系	冬の知場と刊も	見状況に広	いた 対応力/	り羽得					
			7) ° 2] C])± C 201~	<i>3)</i>		> E 10					
	授業	テーマ 機材メンテナンスの	の重要性を学び	び、トラブル	ルシューテン	ノングに対応する。					
	授業」	項目 	\$	口 授業内							
1	/	舞台音響技	術 1	メンテナンス	スの必要性と	方法などを説明					
2	/	舞台音響技	術 2	工具の使いフ	方と注意点に	ついて学ぶ					
3		舞台音響技	術 3	j 3 機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画							
4	/	舞台音響技	術 4	電気機の法名	令と照らし合	わせ修理の方法を決定	とする こうしゅう				
5	/	舞台音響技	術 5	ホール業務の	の内容と音響	システムの把握					
6	/	舞台音響技	術 6	講演会、発表	表会、乗り込	み対応などの演習					
7	/	舞台音響技	術 7	前半振り返り	IJ						
8	/	舞台音響技	術 8	機材在庫管理	里と整理整頓						
9	/	舞台音響技	術 9	ケーブルメン	ンテナンス						
10	/	舞台音響技術			対応できる人						
11	/	舞台音響技			対応できる人						
12	/	舞台音響技	術 12	バンケット夢		音響システムの把握					
13	/	舞台音響技	術 13	結婚式の式》	欠第に沿った	実習					
14		舞台音響技	術 14	後半振り返り	ł)						
15		舞台音響技 ^沒	術 15	学期末学習到	実践期間/学習	アォロー実施					
16		舞台音響技術	術 16	学期末学習9	実践期間/学習	フォロー実施					
	到達				_	□ 評価方法	<i>у</i> ж				
	·	ンス方法の習得				実技試験による評	Щ				
	#E#40 ·	عداد در عداد در									
_	教科	書・・参考文献				□ その他					

_							専門学校 九州ビジュ	. アルアーツ
202	22年月	度(後期)		音響学科	斗 2年			
		授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
			舞	台音響技	術	4	平井 克樹	
		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験	
			後期 10月~3月	演習	選択	64	PA会社運営	
П	授業概	亚						
_		ペス 各現場での音響業剤	務の把握と現場	昜状況に応	じた対応力の	の習得		
	·	どんな現場でも対応	できる力を身	身に着ける。)			
_								
	授業を	ィーマ 作業効率を上げる為	_あ のアイデアる	をイメージ	出来るように	こなる		
		現場での機材トラフ						
	٠							
	授業項	頁目 ————————————————————————————————————	*	口 授業内	容 			
1		舞台音響技?	村 17	メンテナン	スの必要性と	方法などを説明		
2		舞台音響技術	村 18	工具の使いた	方と注意点に	ついて学ぶ		
3		舞台音響技術	析 19	機材在庫管理		のリストアップと修		
4		舞台音響技術	桁 20	電気機の法を	令と照らし合	わせ修理の方法を決!	定する	
5	/	舞台音響技術	桁 21	ホール業務の	の内容と音響	システムの把握		•••••
6		舞台音響技術	析 22	講演会、発	表会、乗り込	み対応などの演習		
7	/	舞台音響技行	桁 23	前半振り返	l)			
8	/	舞台音響技術	桁 24	機材在庫管理	里と整理整頓			
9	/	舞台音響技行	桁 25	ケーブルメン	ンテナンス			
10	/	舞台音響技術	村 26		対応できる人			***************************************
11	/	舞台音響技行	桁 27		対応できる人			***************************************
12	/	舞台音響技術	析 28	バンケット	業務の内容と	音響システムの把握		
13	/	舞台音響技行	桁 29	結婚式の式	欠第に沿った	実習		
14	_/	舞台音響技行	析 30	後半振り返	l)			
15		舞台音響技行	析 31	学期末学習	実践期間/学習	フォロー実施		***************************************
16	/	舞台音響技行	析 32	学期末学習	実践期間/学習	引フォロー実施		
	到達目	 目標				□ 評価方法		
		コス ノス方法の習得			_	実技試験による評	² 価	

	授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名		
			台照明技	術	型间又未收数 4	有限会社ライティング・オフィス・シャド・		
	コースNo.	授業期間	・ロ M・7 JJス 授業分類		一 年間授業時数	実務経験		
		前期 4月~9月	演習	選択	64	照明会社		
		1		<u> </u>				
コ 授業権	既要							
	仮設現場を想定して	[のプランニ	ング〜オペ	レート				
-								
· 授業:	テーマ		••••••••					
	どれがの仮想現場を	想定できる	か?起こり	うる課題を	共有する。			
] 授業 []]	項目		□ 授業内	容				
1	舞台照明技行	術 1	授業内容説明.	、チーフ決め、	会場の下見、電流	原の確認、設定の発表に基づいたプランニン		
2 /	舞台照明技行	術 2	A館玄関 進雪	峰の巨人前ライ	トアップ 時間内	1に仕込み~撤去まで終わらせる		
3	舞台照明技行	術 3	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニン					
4	舞台照明技行	術 4	2F 学生ホール	/ JAZZライブ	想定のオペレーシ	ィョン 時間内に仕込み~撤去まで終わらせる		
5	舞台照明技行	術 5	前回の振り返	り、チーフ決め)、会場の下見、「	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニ		
6	舞台照明技行	術 6	A館2F バー実	習室ライトアッ	,プ 時間内に仕込	込み〜撤去まで終わらせる		
7	舞台照明技行	術 7	前回の振り返	り、チーフ決め)、会場の下見、『	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニ		
8 /	舞台照明技行	術 8	B館8階 ホテ	ル実習室でホラ	ラー映画演出 時	間内に仕込み~撤去まで終わらせる		
9	舞台照明技行	術 9	前回の振り返	り、チーフ決め)、会場の下見、電	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニ		
10 /	舞台照明技術	析 10	B館7階 バン			の参加も要請する予定		
11 /	舞台照明技術	析 11	前回の振り返)、会場の下見、『	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニ		
12 /	舞台照明技術	析 12	A館8階廊下	ランウェイにタ	記立ててファッシ	ョンショー 時間内に仕込み〜撤去まで終わ		
13 -/	舞台照明技術	村 13	前回の振り返	り、チーフ決め)、会場の下見、1	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニ		
14/-	舞台照明技術	村 14	2F 学生ホール	<i>、</i> アコーステ	ィックライブ 時	間内に仕込み~撤去まで終わらせる		
15	舞台照明技術	村 15	学期末学習実	践期間/学習フ	ォロー実施			
16	舞台照明技術	析 16	学期末学習実	践期間/学習フ	ォロー実施			
] 到達	· 目標		<u> </u>		□ 評価方法	\		
さまざまぇ	なシチュエーション	での照明担当	áを体験する) •	総合評価			
				r				
□ 教科	書・・参考文献				□ その他			

		授業コード	授業科目名 舞台照明技術			週間授業時数	担当講師名
	•••••					4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
•••••		コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
			後期 10月~3月	演習	選択	64	照明会社
	授業権	系要 仮設現場を想定して	のプランニ	ング〜オペ	レート		
どれがの仮想現場を想定できるか?起こりうる課題を共有する。 							
	授業項	頁目		□ 授業内	容		
1	/	舞台照明技術	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニンク				
2	/	舞台照明技術	A館玄関 進撃の巨人前ライトアップ 時間内に仕込み〜撤去まで終わらせる				
3	/	舞台照明技術 19		前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニン			
4		舞台照明技術	2F 学生ホール JAZZライブ想定のオペレーション 時間内に仕込み〜撤去まで終わらせる				
5	/	舞台照明技術 21		前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニン			
6	/	舞台照明技術 22		A館2F バー実習室ライトアップ 時間内に仕込み~撤去まで終わらせる			
7	/	舞台照明技術	र्ने 23	前回の振り返	り、チーフ決め)、会場の下見、電	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニ ン
8	/	舞台照明技術	B館8階 ホテル実習室でホラー映画演出 時間内に仕込み〜撤去まで終わらせる				
9	/	舞台照明技術	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニン				
10		舞台照明技術	B館7階 バンケットルームで模擬披露宴 PAの参加も要請する予定				
11	/	舞台照明技術		前回の振り返	り、チーフ決め)、会場の下見、電	電源の確認、設定の発表に基づいたプランニン
12	/	舞台照明技術		A館8階廊下	ランウェイに見	記立ててファッシ:	ョンショー 時間内に仕込み〜撤去まで終わり
13	/	舞台照明技術	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニン				
14	/	舞台照明技術	2F 学生ホール アコースティックライブ 時間内に仕込み~撤去まで終わらせる				
15		舞台照明技術	5 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施			
16	/	舞台照明技術	र्ने 32	学期末学習実	践期間/学習フ	ォロー実施	
	到達に]標 なシチュエーション゛	~ ∩ 07 00 ±0 V	/ ナ / + Eや-+ フ		□ 評価方法 総合評価	: